

苦木沢橋 上部工補修図

S=1:60

第1径間

PC横締め部

第3径間

側面図
(下流側)

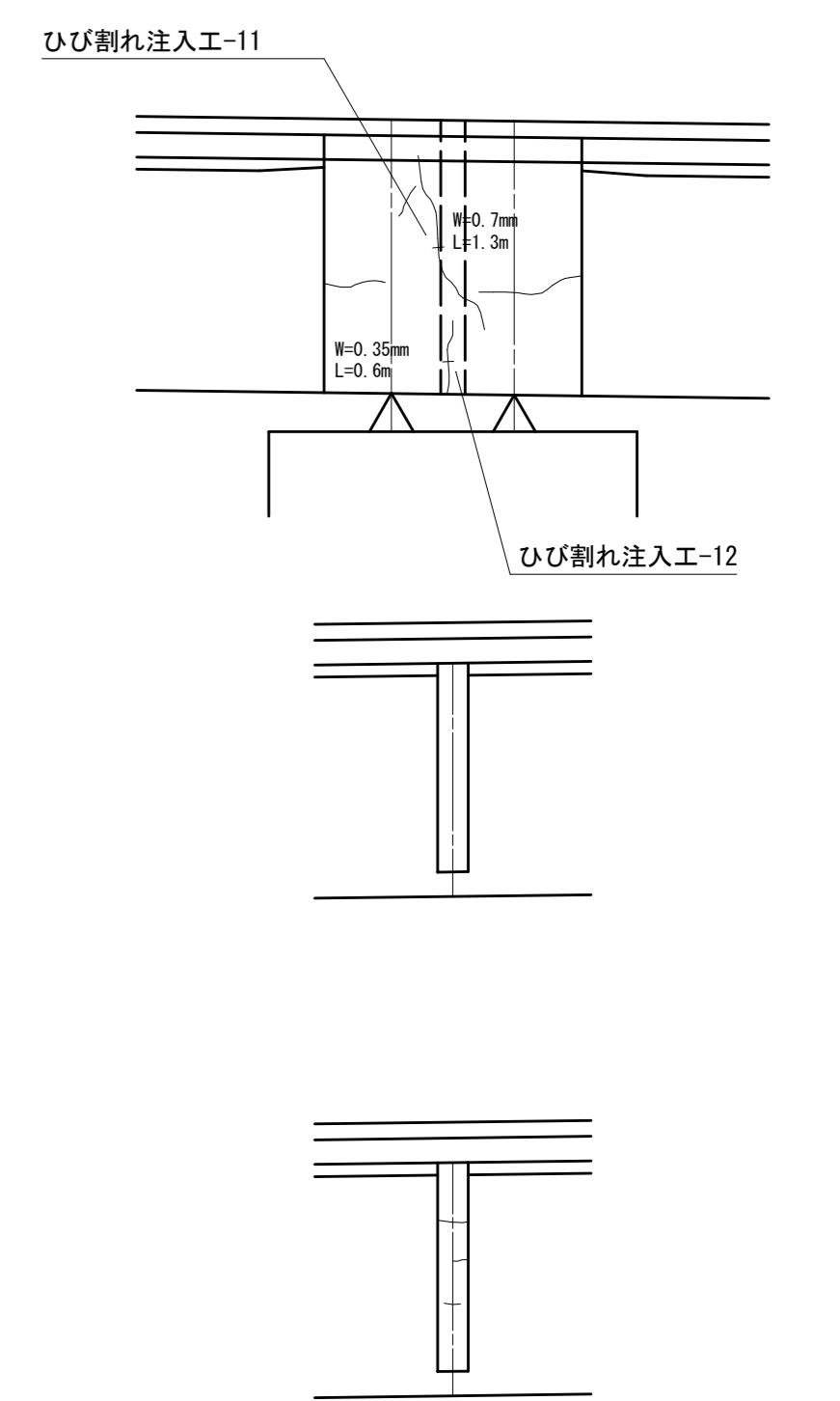
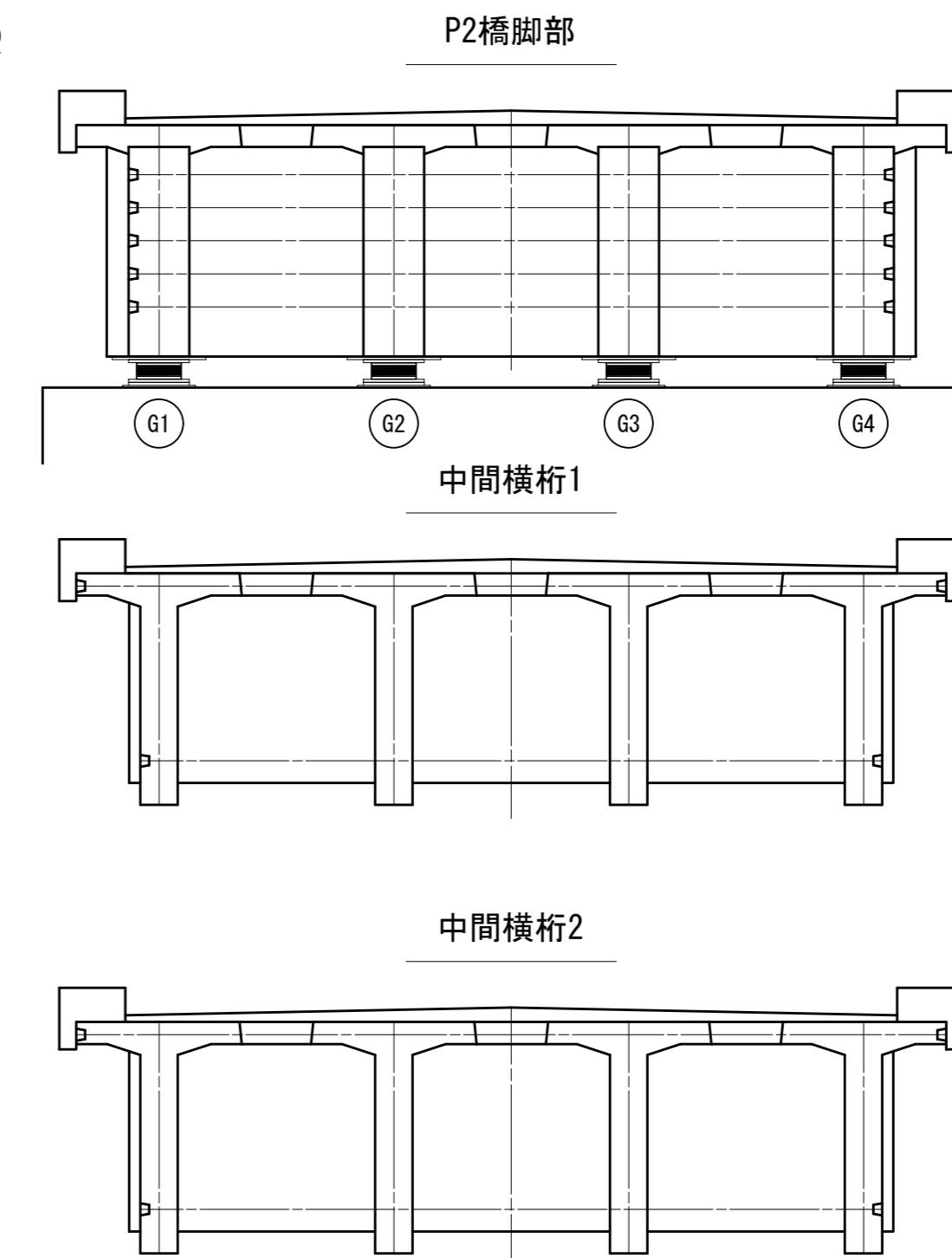
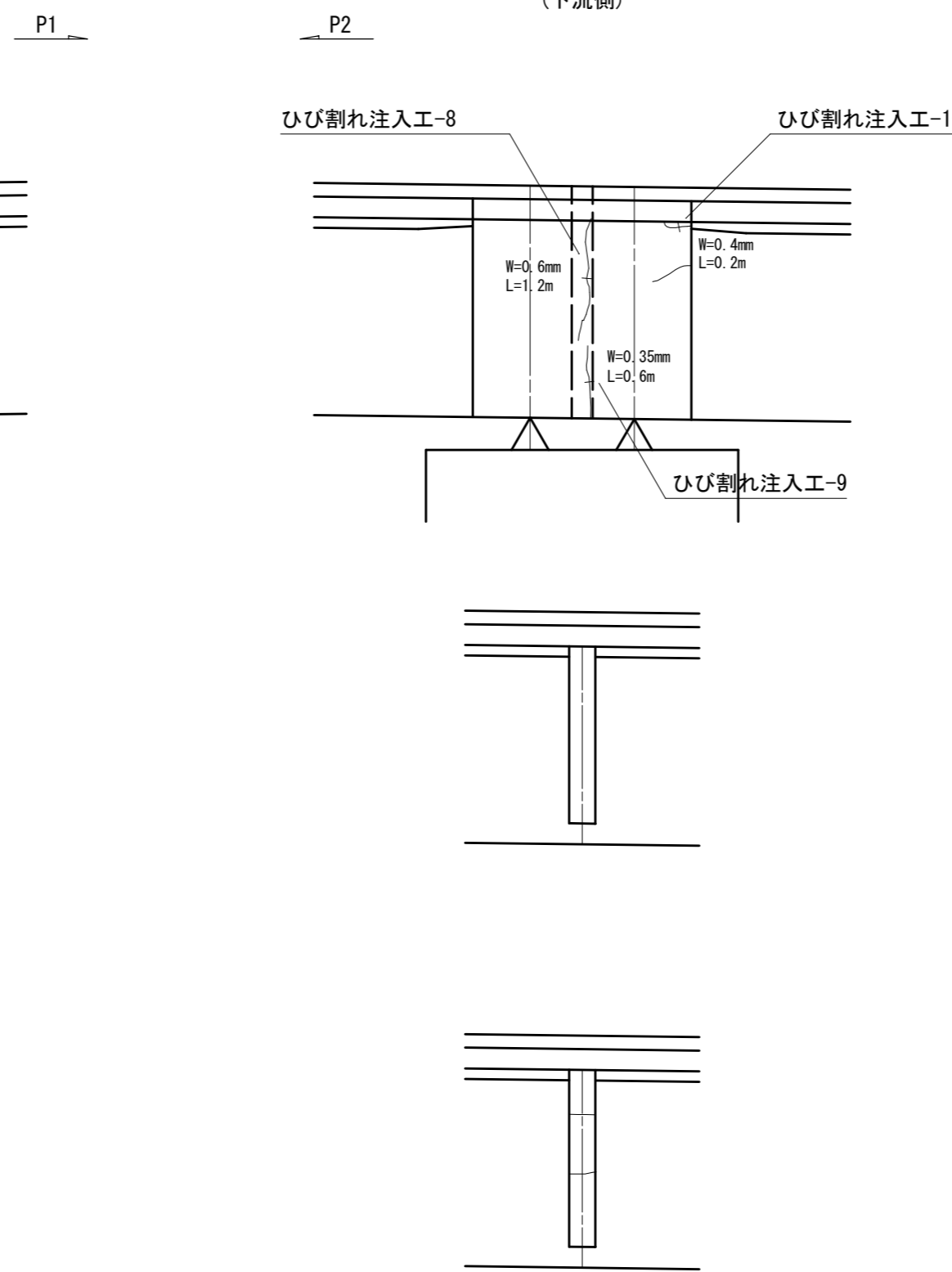
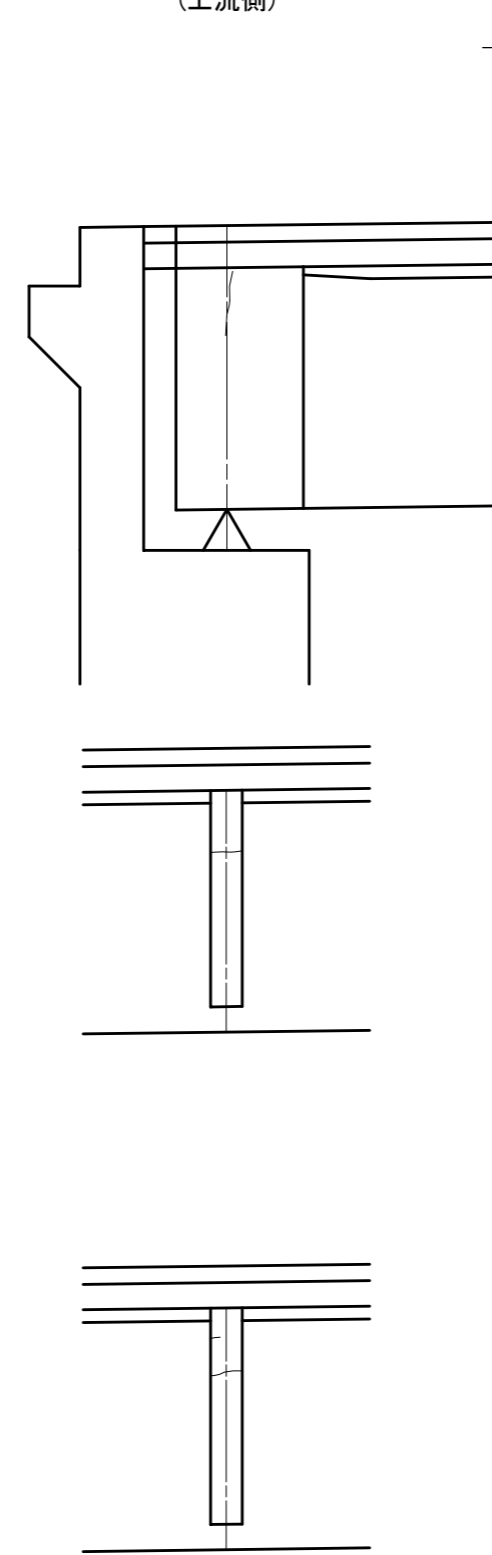
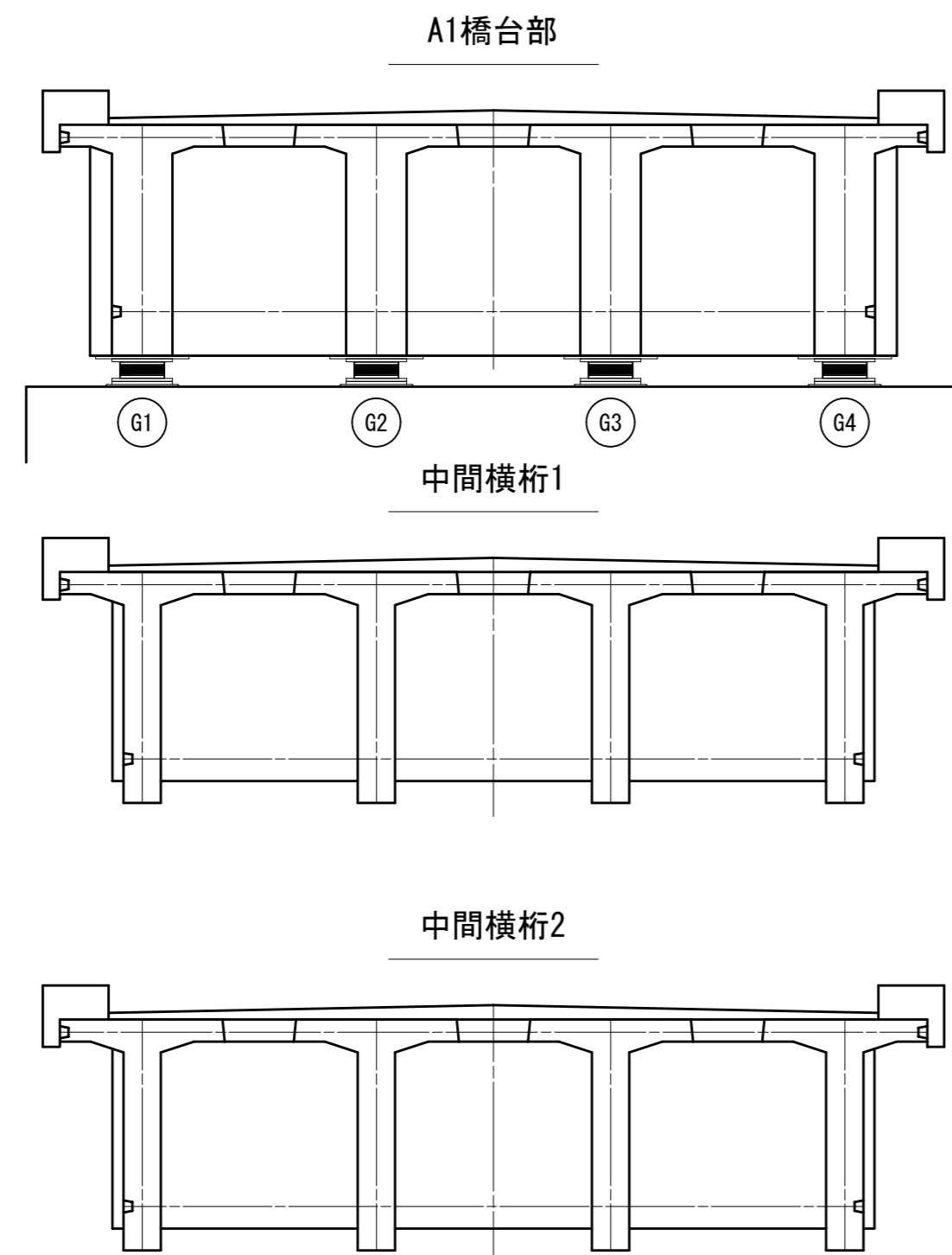
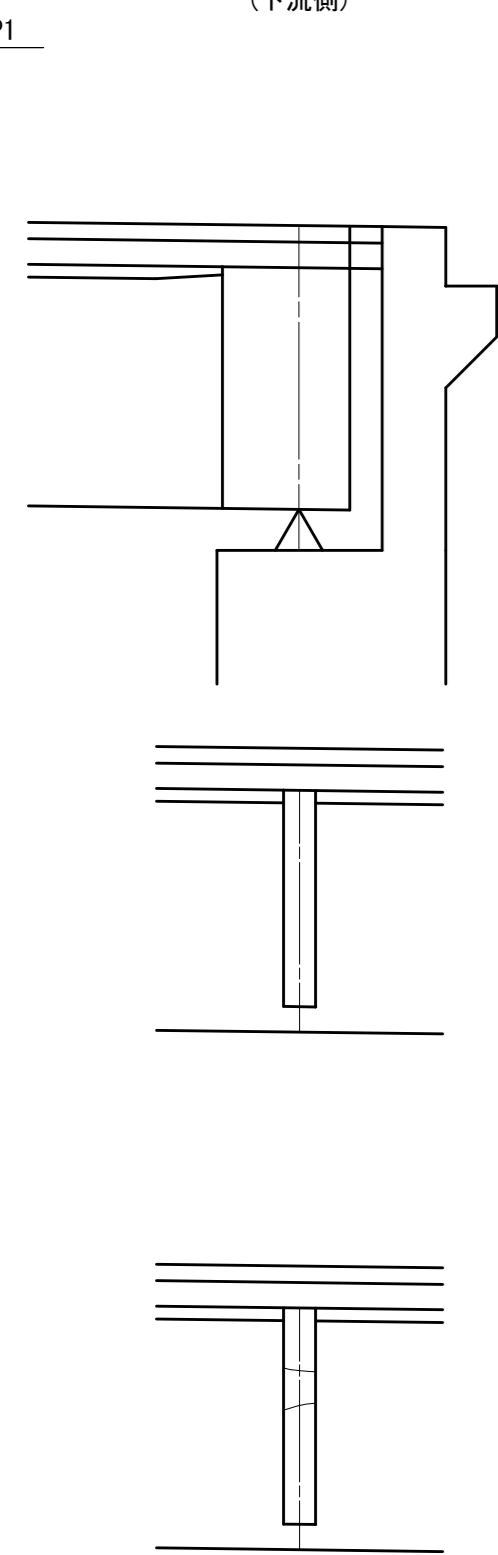
断面図

側面図
(上流側)

側面図
(下流側)

断面図

側面図
(上流側)



第2径間

側面図
(下流側)

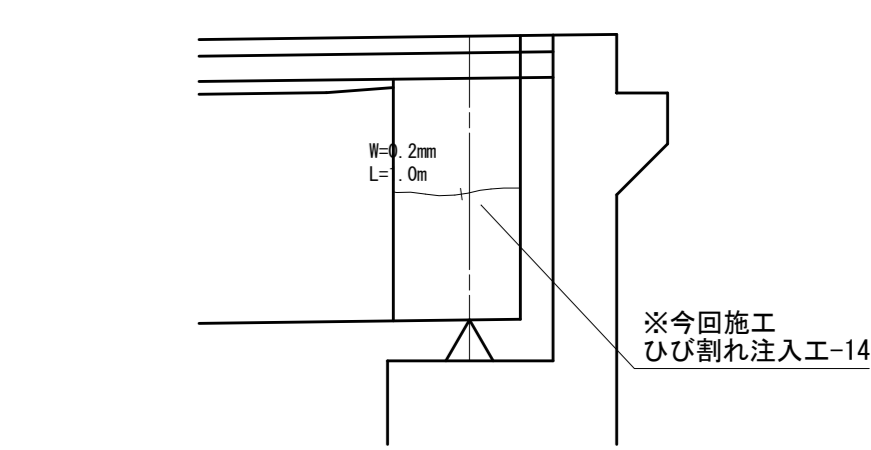
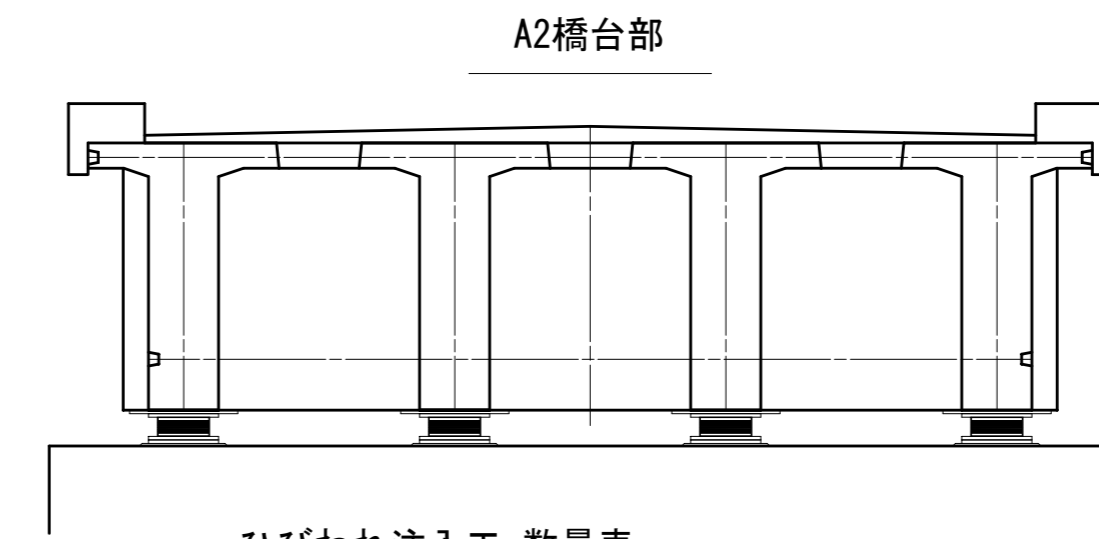
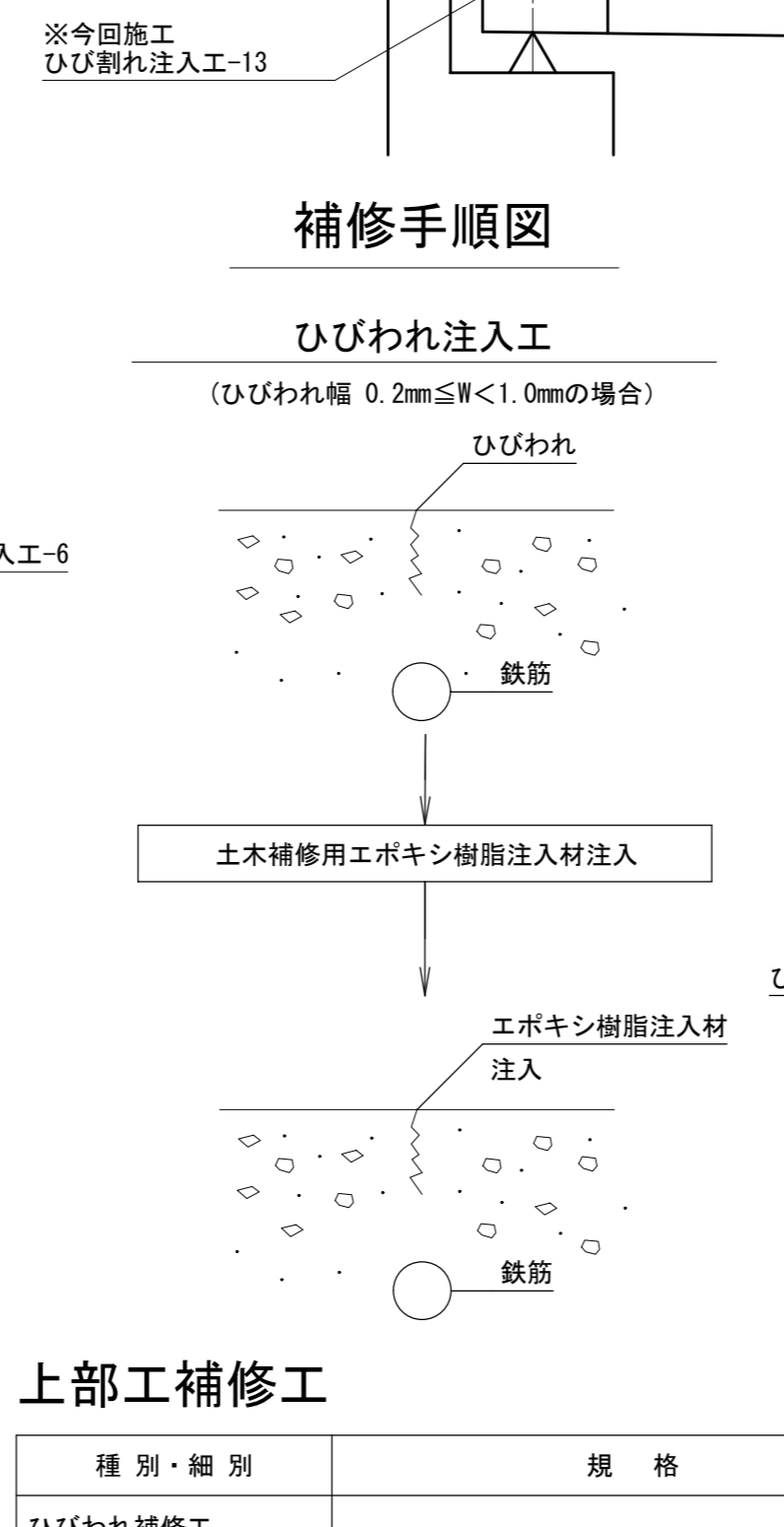
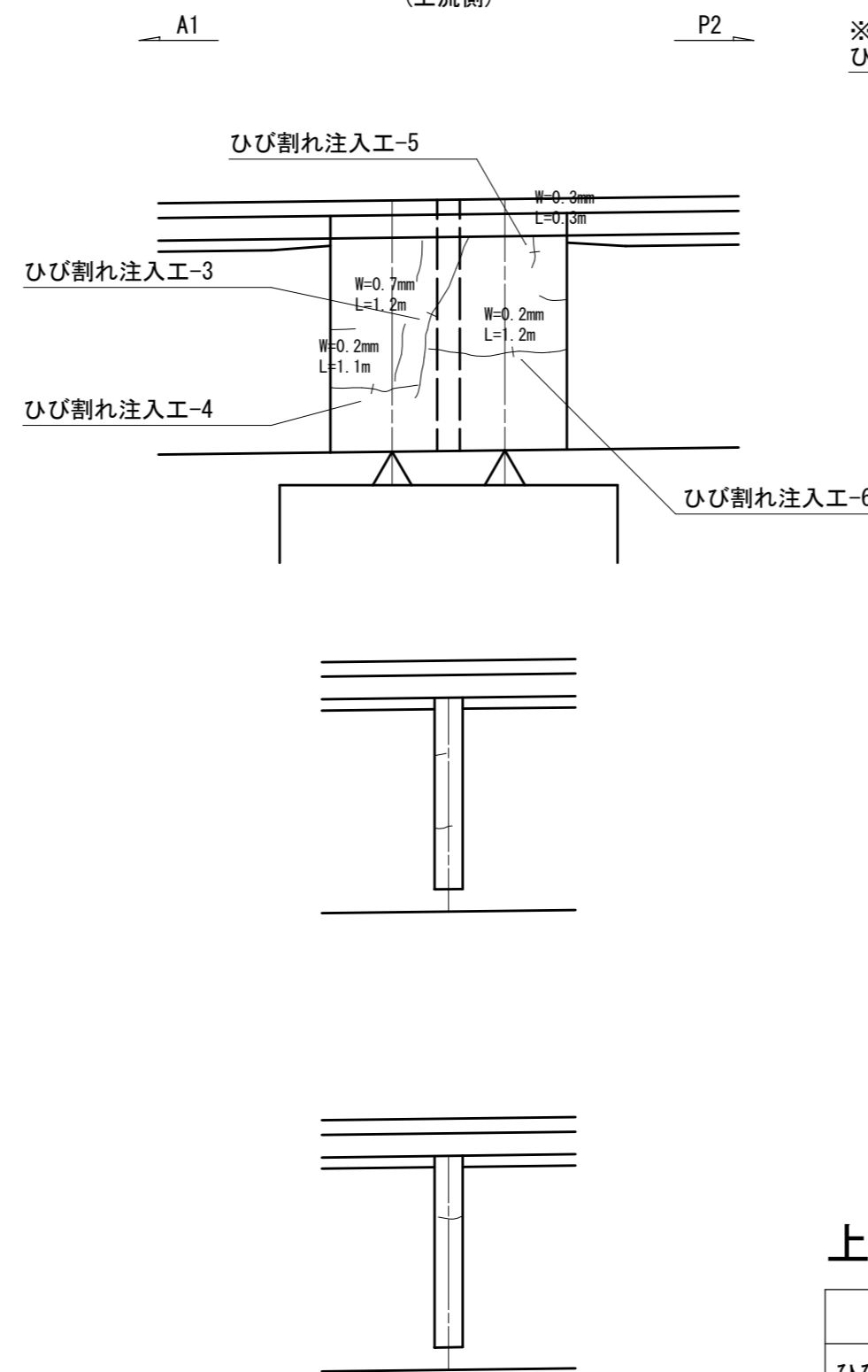
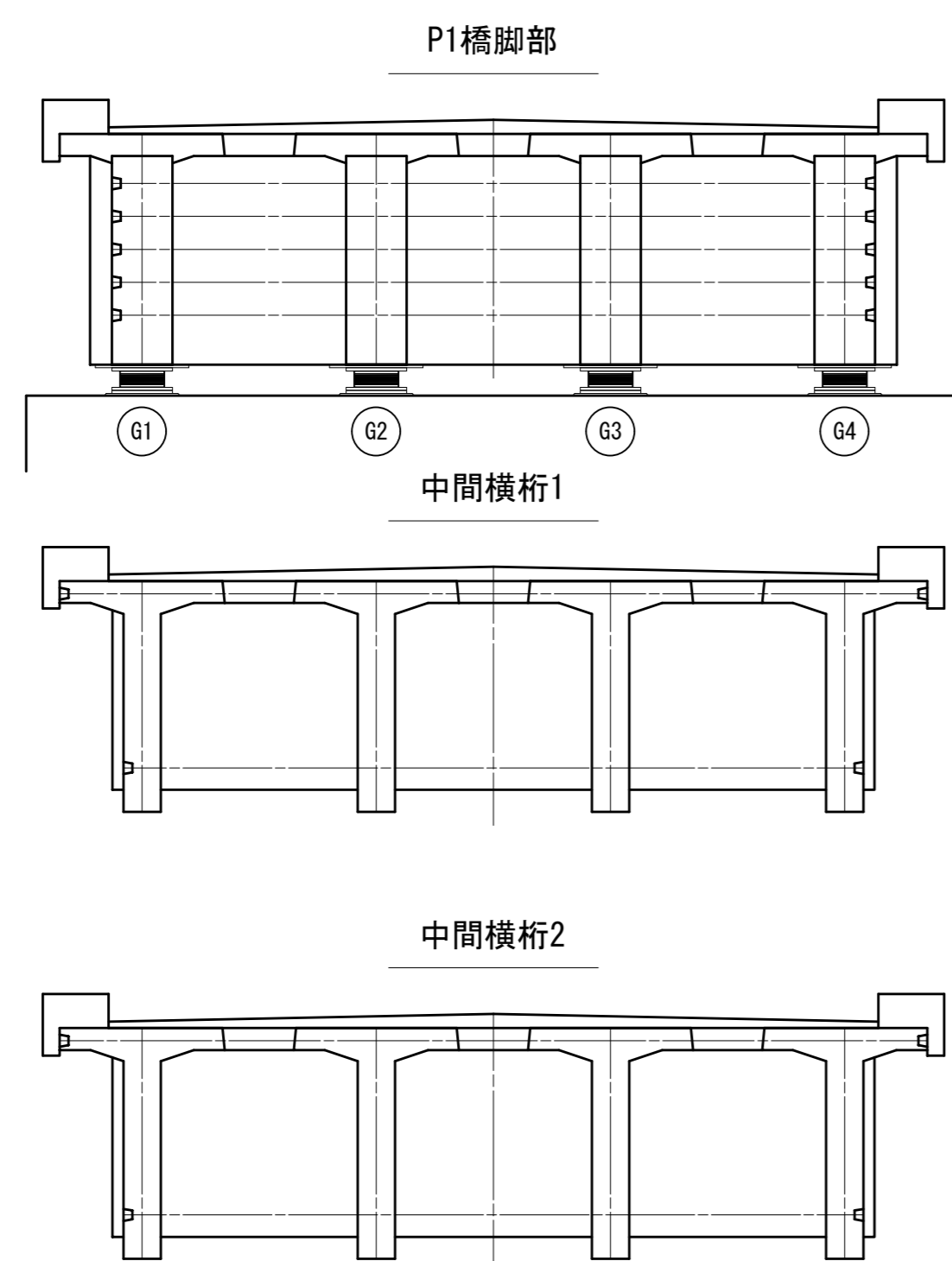
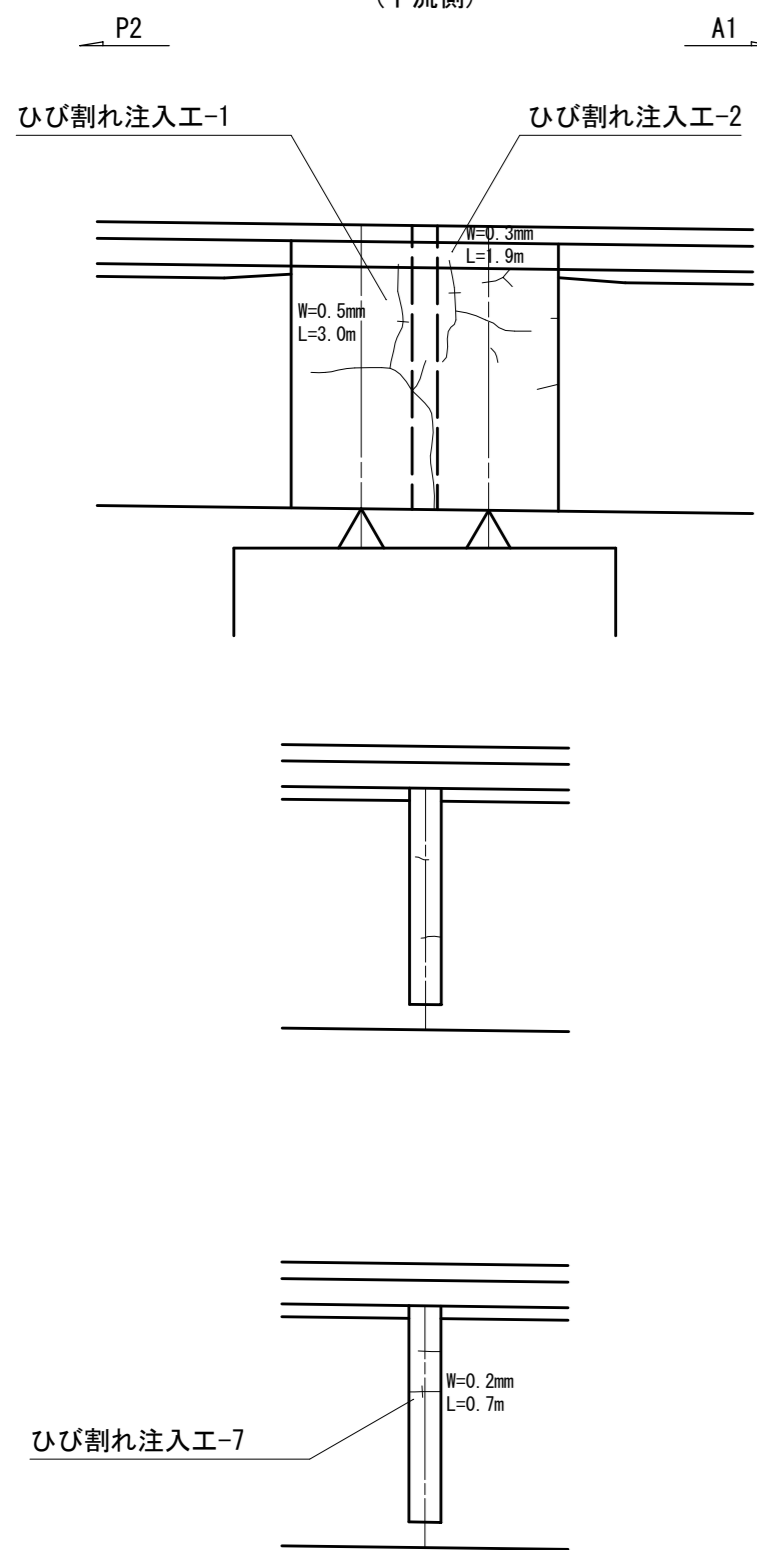
断面図

側面図
(上流側)

側面図
(上流側)

断面図

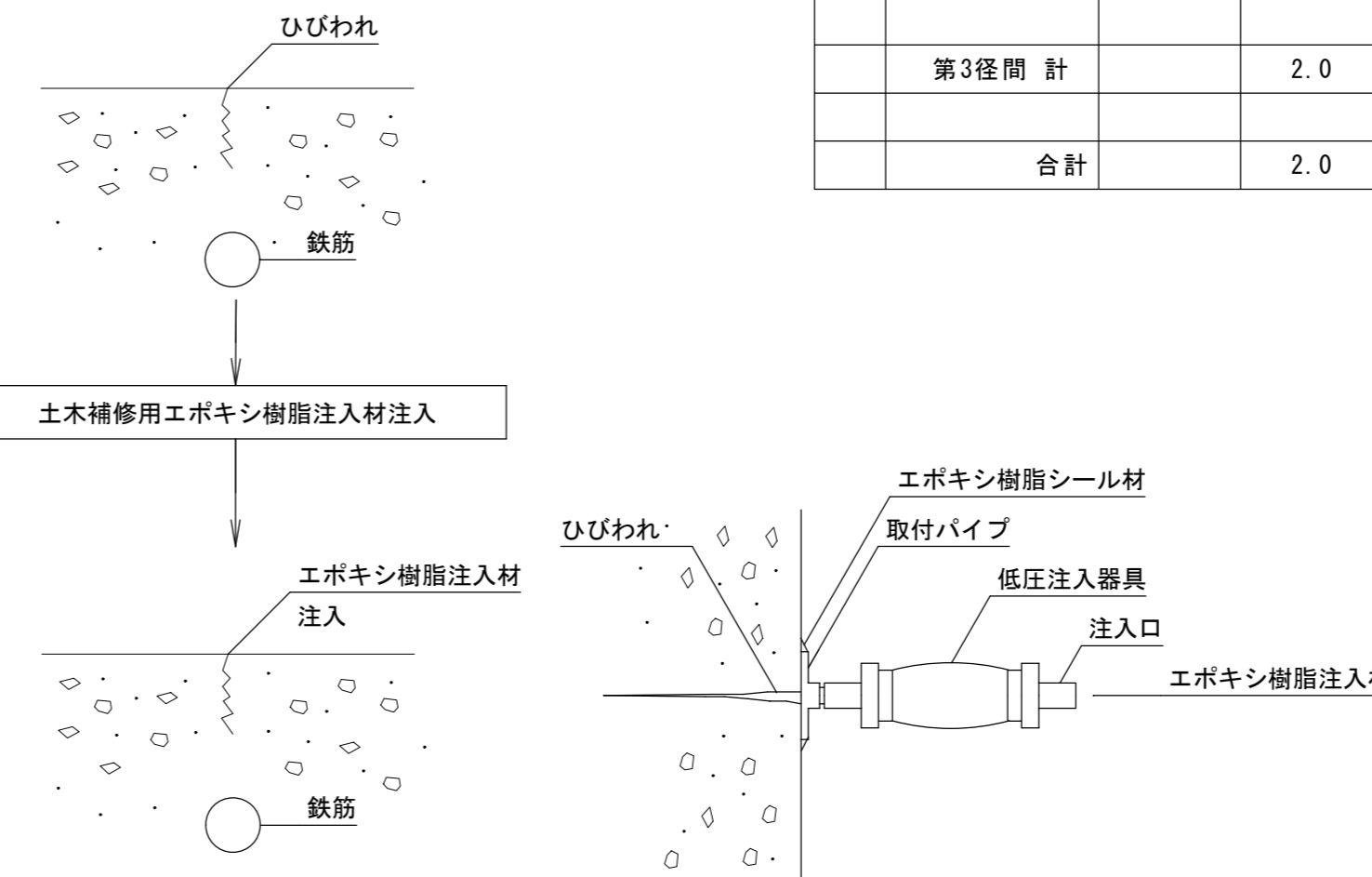
側面図
(上流側)



補修手順図

ひびわれ注入工

(ひびわれ幅 0.2mm ≤ W < 1.0mm の場合)



ひびわれ注入工 数量表

番号	位置	幅 W (mm)	延長 L (m)	深さ D (mm)	体積 (m ³)
13	"	0.3	1.0	200	0.00006
14	"	0.2	1.0	200	0.00004
第3径間 計			2.0		0.00010
合計			2.0		0.00010

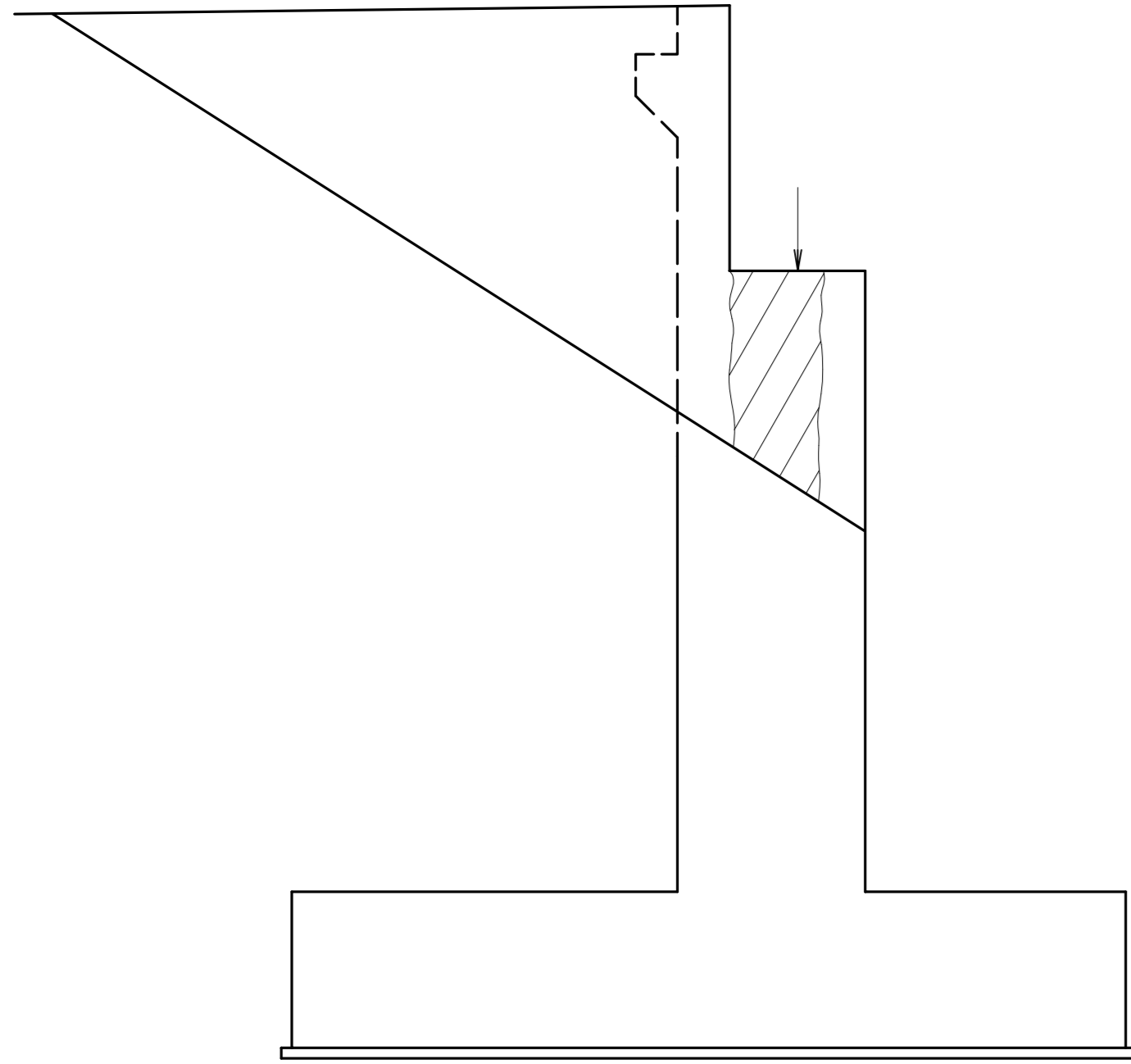
上部工補修工

種別・細別	規格	単位	数量	備考
ひびわれ補修工				
ひびわれ注入工	延べ施工延長	m	2.0	
	土木補修用エポキシ樹脂注入材3種	kg	0.2	W=1540kg/m ³ (比重1.10g/cm ³ × ロス率14%) × 注入材体積 を想定
	シール材 (エポキシ樹脂パテ材)	kg	0.4	W=0.2kg/m を想定
	低圧注入器具	個	7	L=300mm/個 N=2.0/0.3=7個

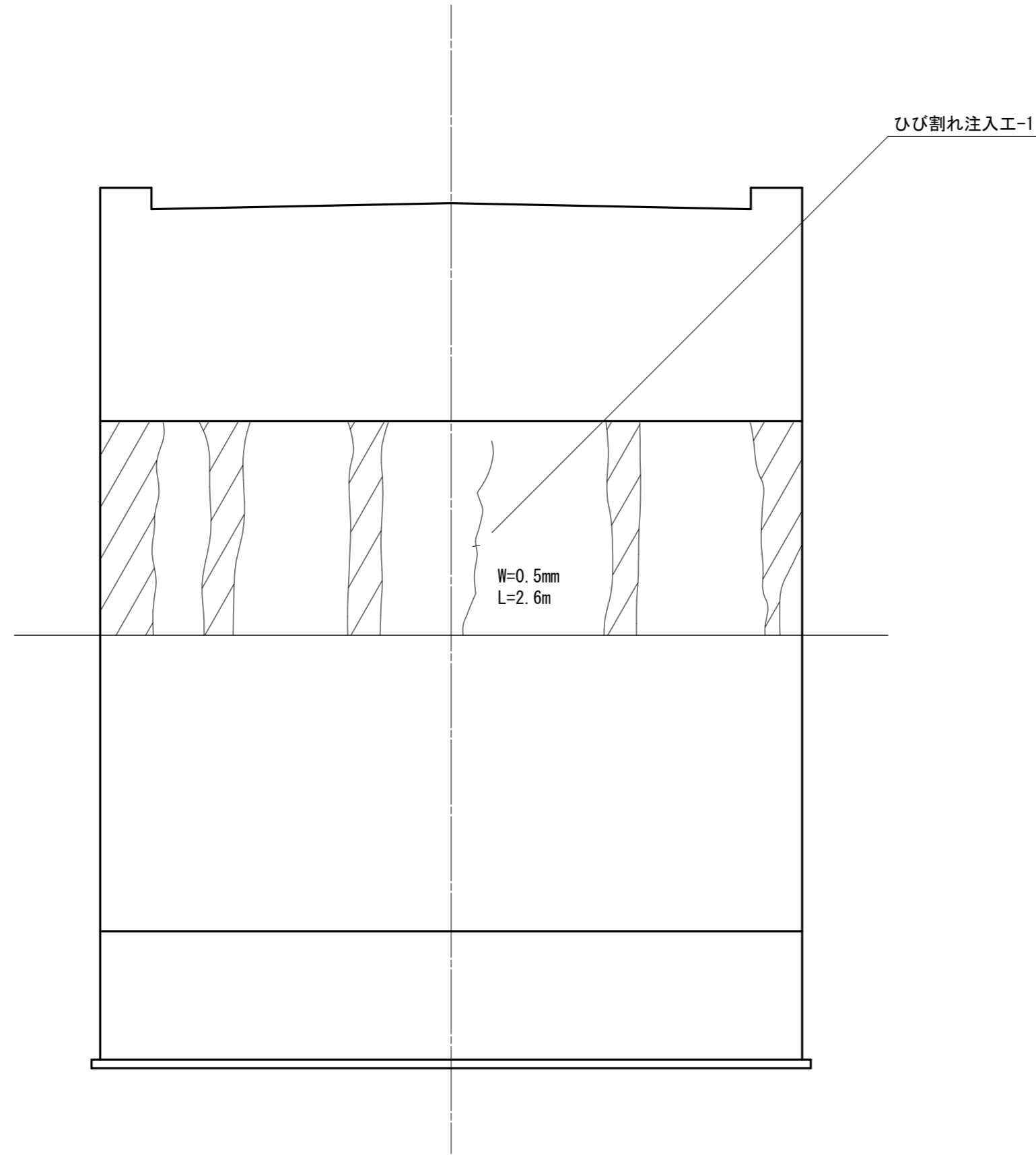
※1 各寸法は現地検測を行った上で施工すること。現地と図面に相違が見られた場合は、設計変更により現地寸法を優先して施工すること。
 ※2 ひび割れ幅0.2mm未満のひび割れについては、補修対象外とする。

令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事				
番号	1 / 6	上部工補修図	縮尺	1:60
現場限柱線 苦木沢橋				
中川村				
村長	課長	調査	設計	
中川村役場				
設計会社	概ゼンシン	管理技術者	原田 東輔	
		調査技術者	藤田 隆	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

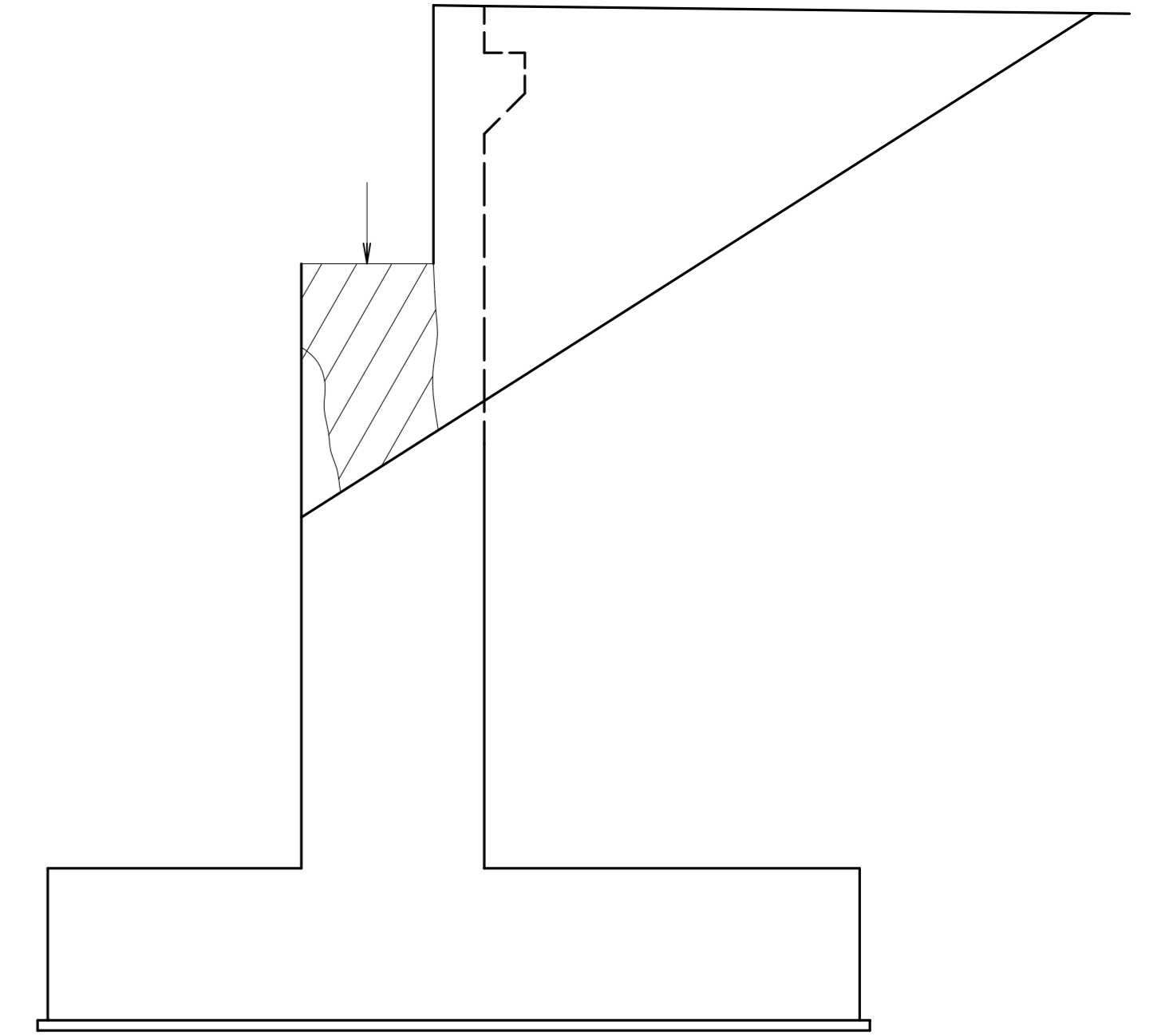
側面図
(上流側)



正面図



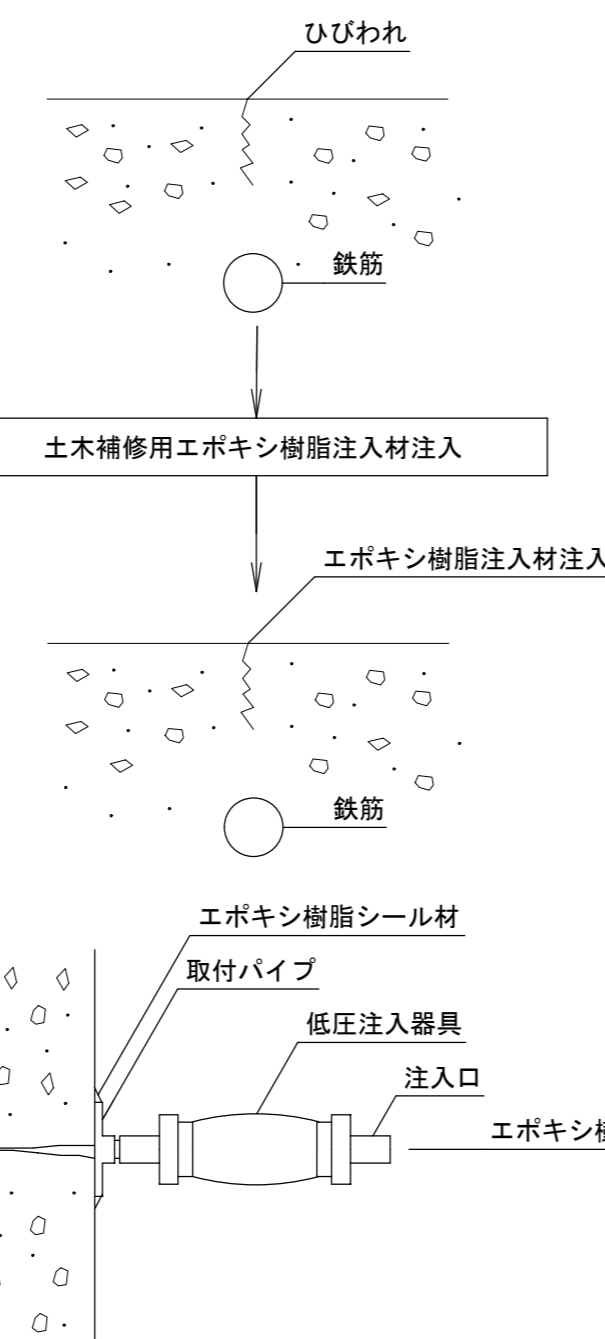
側面図
(下流側)



補修手順図

ひびわれ注入工

(ひびわれ幅 0.2mm ≤ W < 1.0mm の場合)



ひびわれ注入工 数量表

番号	位置	幅 W (mm)	延長 L (m)	深さ D (mm)	体積 (m ³)
1	A1橋台	0.5	2.6	500	0.00065
	A1橋台 計		2.6		0.00065

A1橋台補修工

種別・細別	規格	単位	数量	備考
ひびわれ補修工				
ひびわれ注入工	延べ施工延長	m	2.6	
	土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	kg	1.0	W=1610kg/m ³ (比重1.15g/cm ³ ×ロス率140%)×注入材体積を想定
	シール材(エポキシ樹脂パテ材)	kg	0.5	W=0.2kg/mを想定
	低圧注入器具	個	9	L=300mm/個 N=2.6/0.3=9個

※1 各寸法は現地検測を行った上で施工すること。現地と図面に相違が見られた場合は、設計変更により現地寸法を優先して施工すること。
 ※2 ひび割れ幅0.2mm未満のひび割れについては、補修対象外とする。

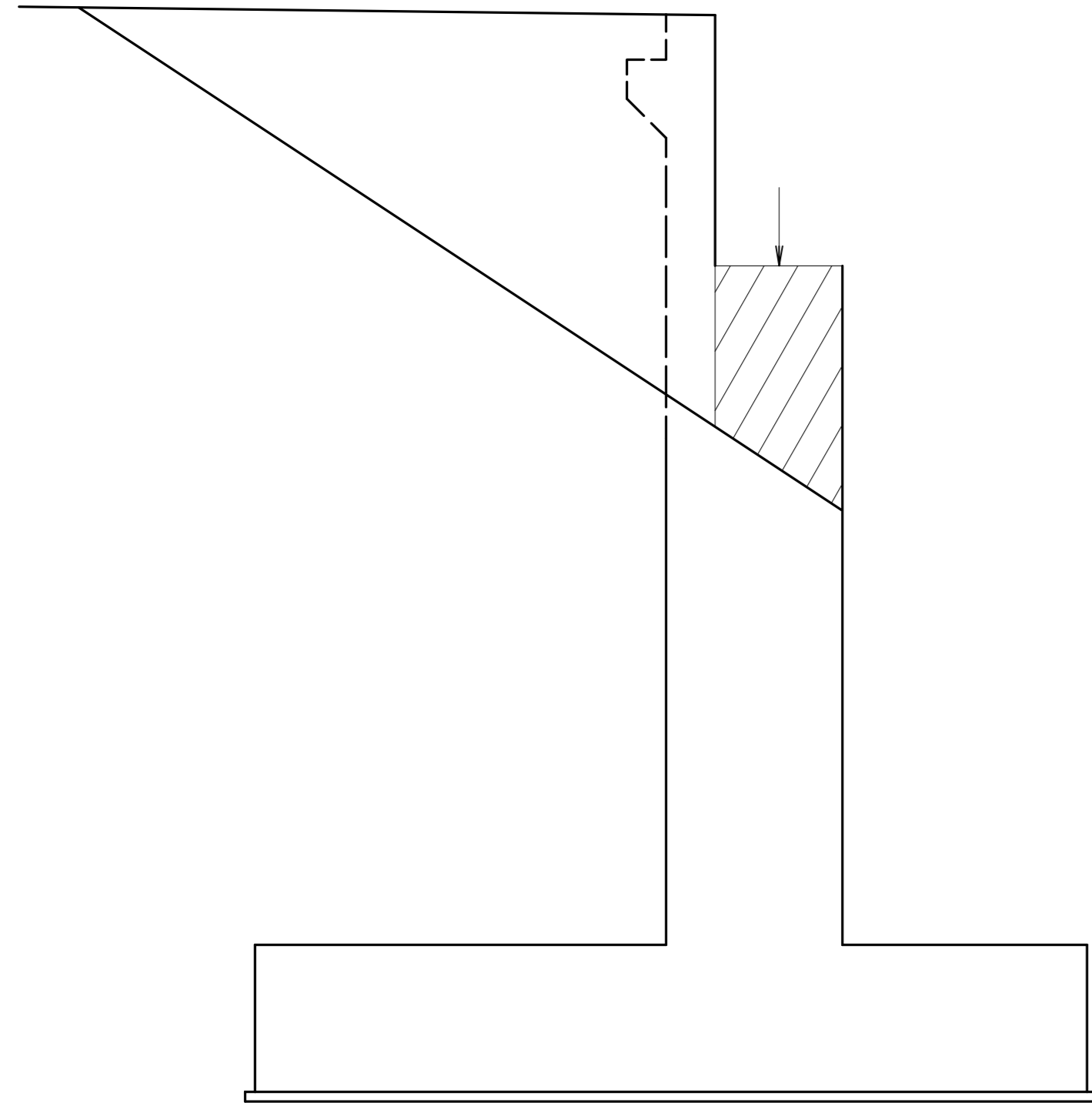
令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事				
番号	2 / 6	A1橋台補修図	縮尺	1:60
現場関係者 苦木沢橋				
中川村				
村長	課長	照査	設計	
中川村役場				
設計会社	概ゼンシン	管理技術者	原田 東輔	
		照査技術者	原田 隆	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

苦木沢橋 A2橋台補修図

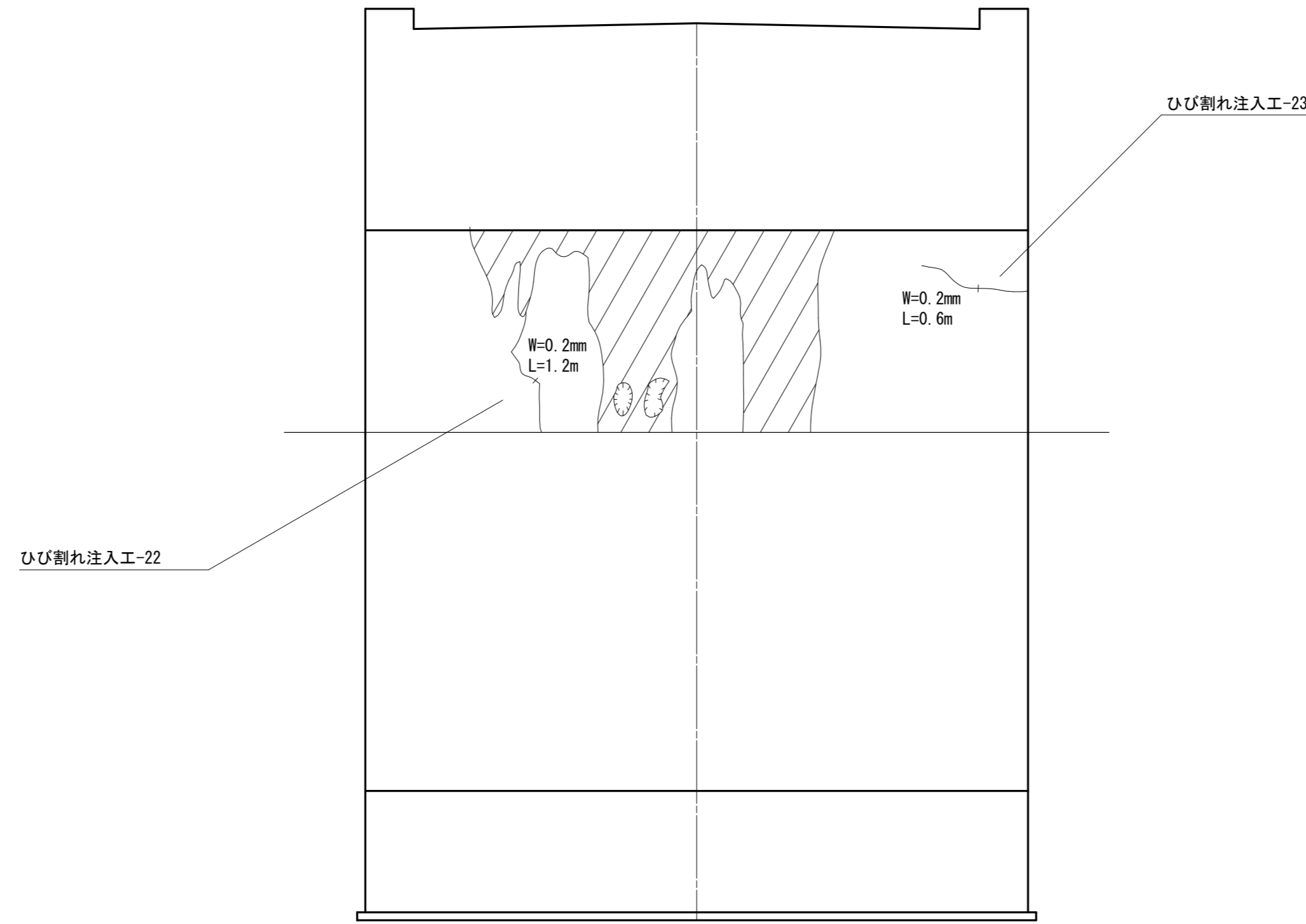
S=1:60

側面図

(下流側)

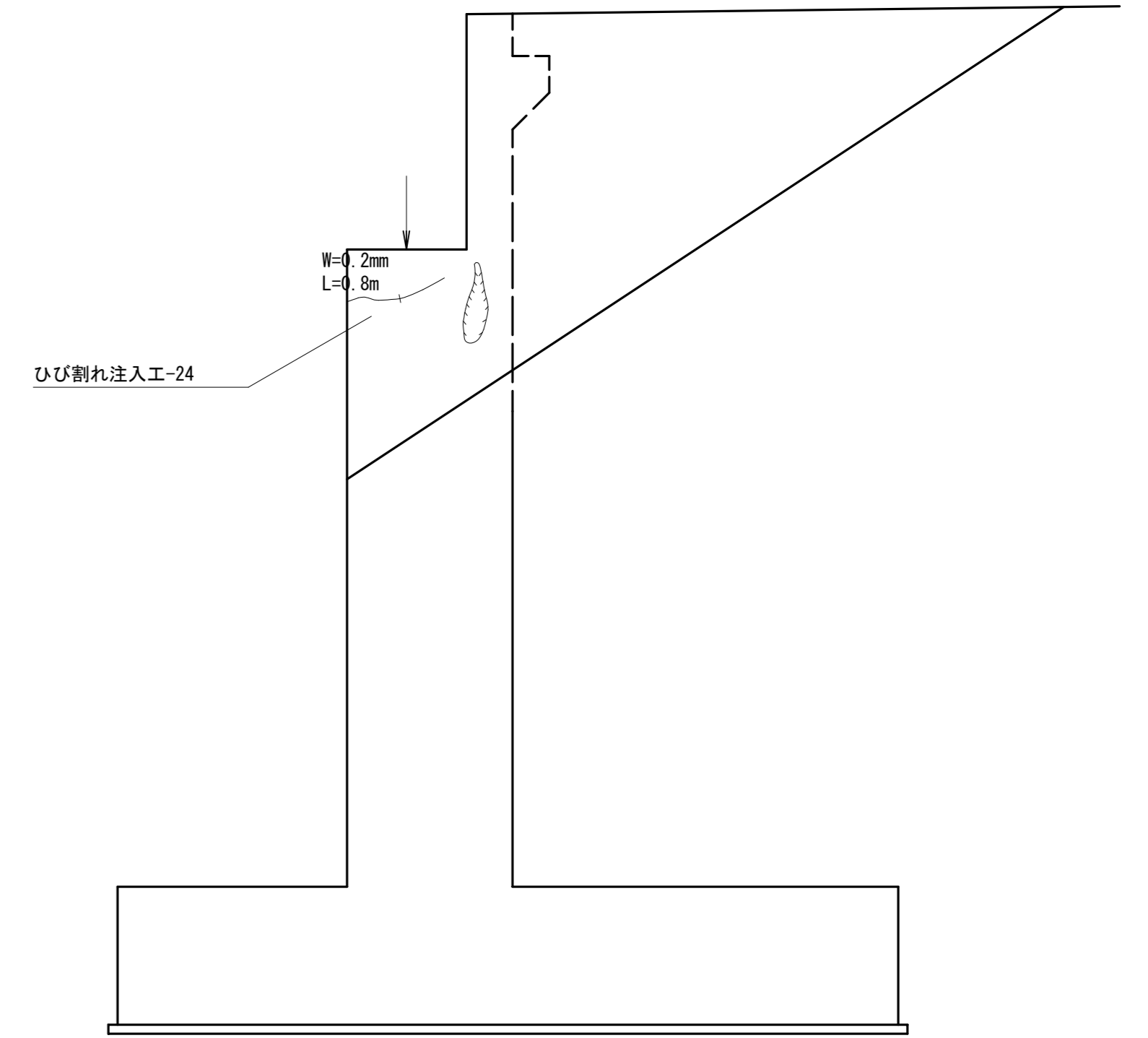


正面図



側面図

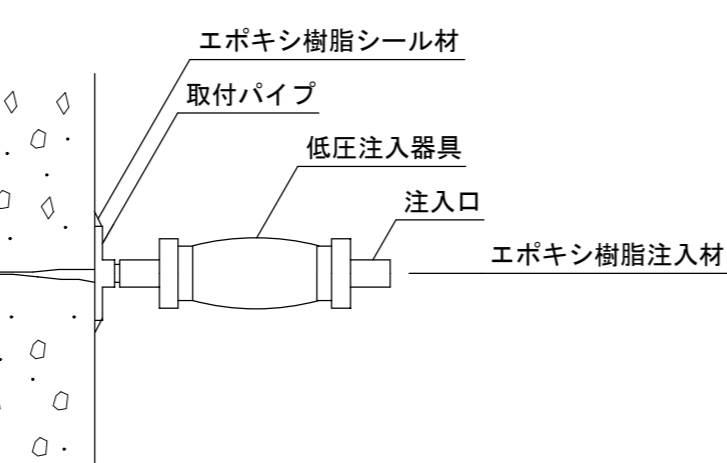
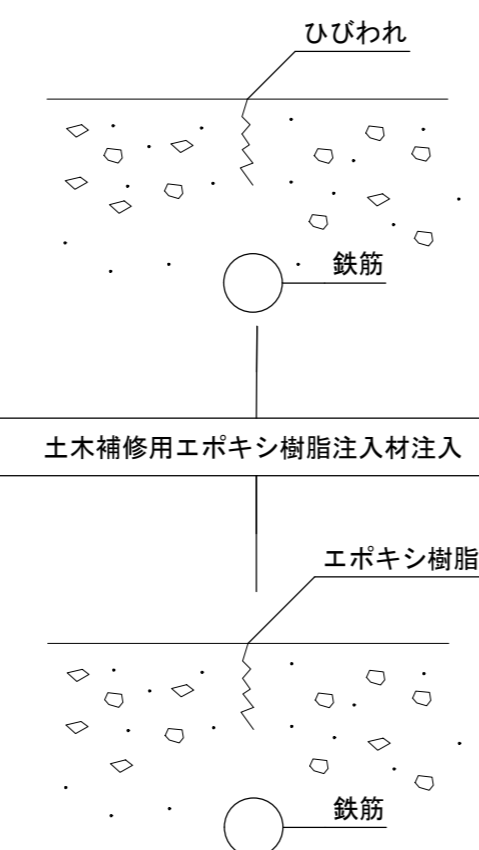
(上流側)



補修手順図

ひびわれ注入工

(ひびわれ幅 0.2mm ≤ W < 1.0mm の場合)



ひびわれ注入工 数量表

番号	位置	幅 W (mm)	延長 L (m)	深さ D (mm)	体積 (m ³)
22	A2橋台	0.2	1.2	500	0.00012
23	"	0.2	0.6	500	0.00006
24	"	0.2	0.8	500	0.00008
A2橋台 計				2.6	0.00026

A2橋台補修工

種別・細別	規格	単位	数量	備考
ひびわれ補修工				
ひびわれ注入工	延べ施工延長	m	2.6	
	土木補修用エポキシ樹脂注入材1種	kg	0.4	W=1610kg/m ³ (比重1.15g/cm ³ ×ロス率140%)×注入材体積を想定
	シール材(エポキシ樹脂パテ材)	kg	0.5	W=0.2kg/mを想定
	低圧注入器具	個	9	L=300mm/個 N=2.6/0.3=9個

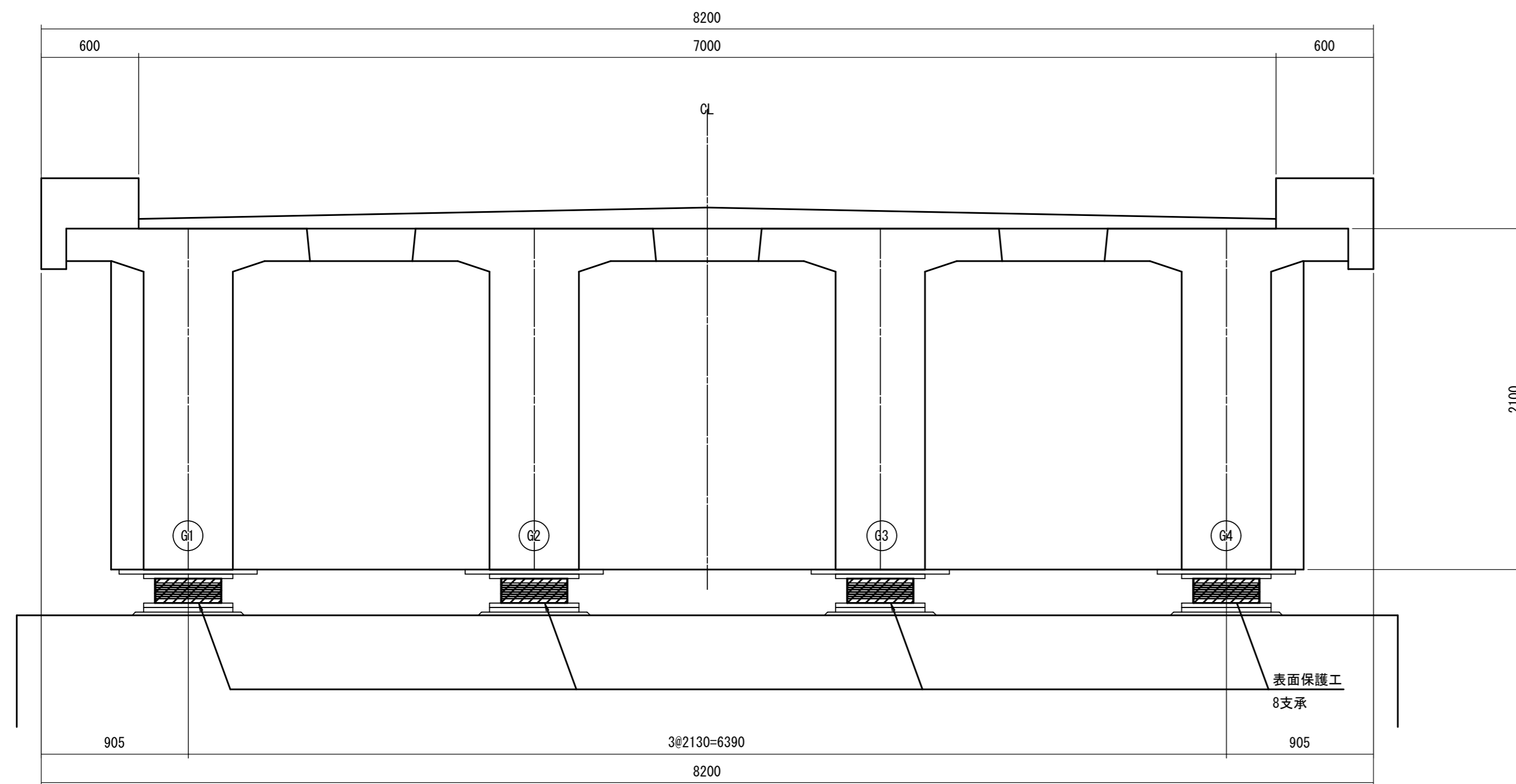
※1 各寸法は現地検測を行った上で施工すること。現地と図面に相違が見られた場合は、設計変更により現地寸法を優先して施工すること。
 ※2 ひび割れ幅0.2mm未満のひび割れについては、補修対象外とする。

令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事				
番号	3 / 6	A2橋台補修図	縮尺	1:60
現場関係者 苦木沢橋				
中川村				
村長	課長	照査	設計	
中川村役場				
設計会社	概ゼンシン	管理技術者	原田 東輔	
		照査技術者	藤田 隆	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

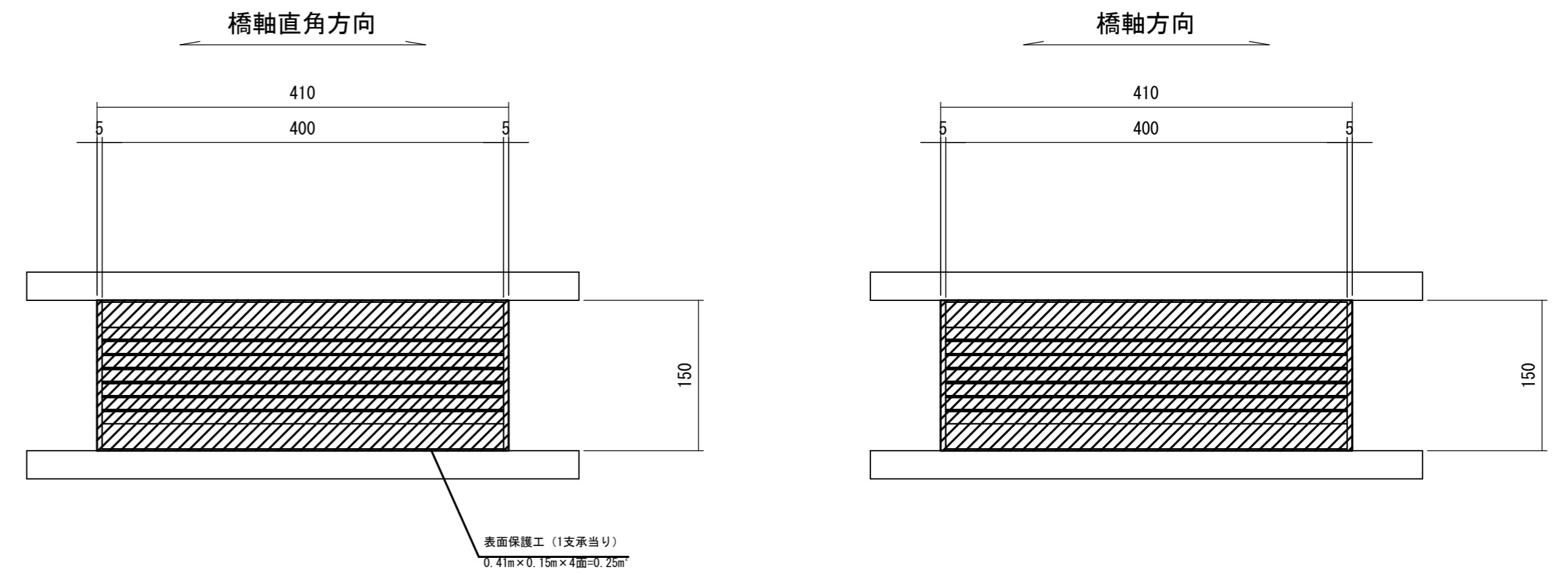
苦木沢橋 支承補修図

A1橋台支承, A2橋台支承
(N=8支承)

断面図 S=1:25



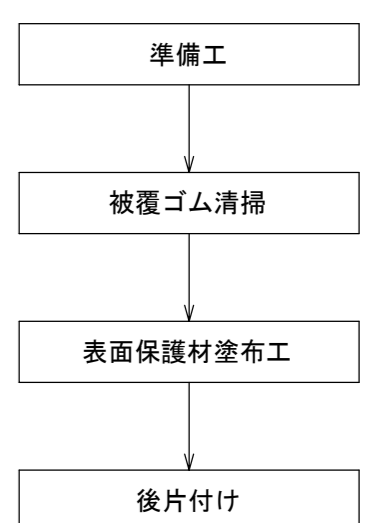
支承断面図 S=1:5



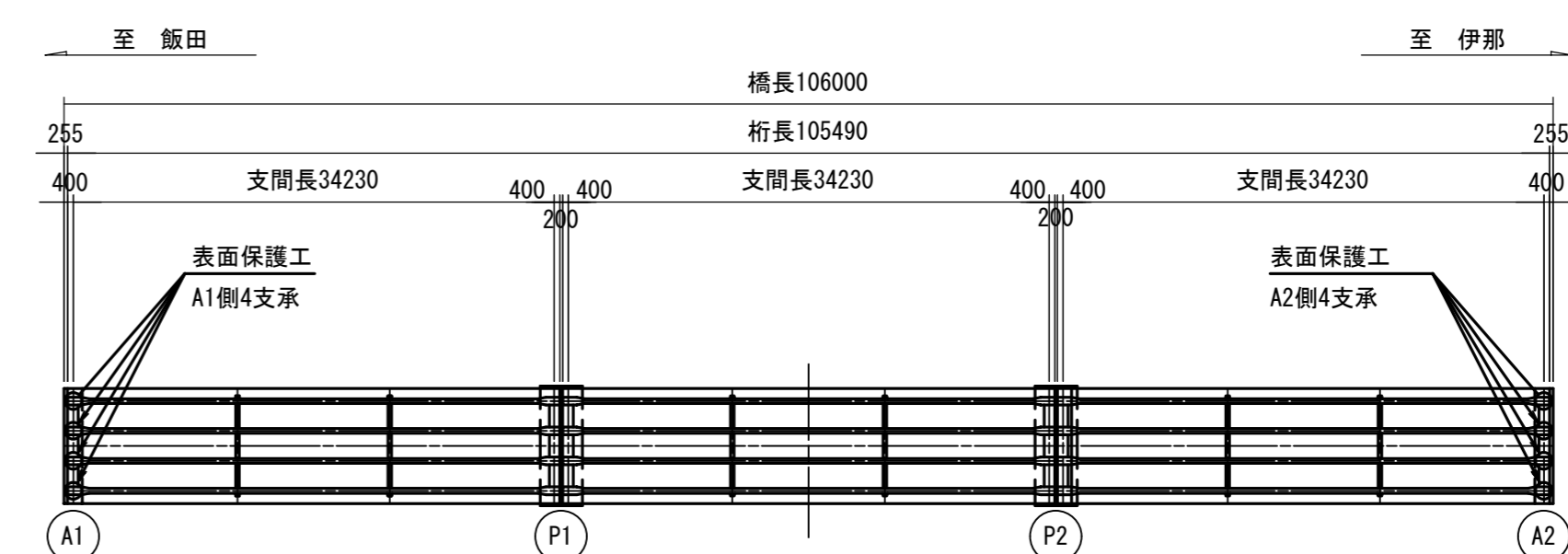
支承補修工

種別・細別	規格	単位	数量	備考
表面保護工				
表面保護工	ゴム支承用耐候性表面保護材	m ²	2.0	0.25m ² × 8支承

施工手順フロー



位置図 s=1:500



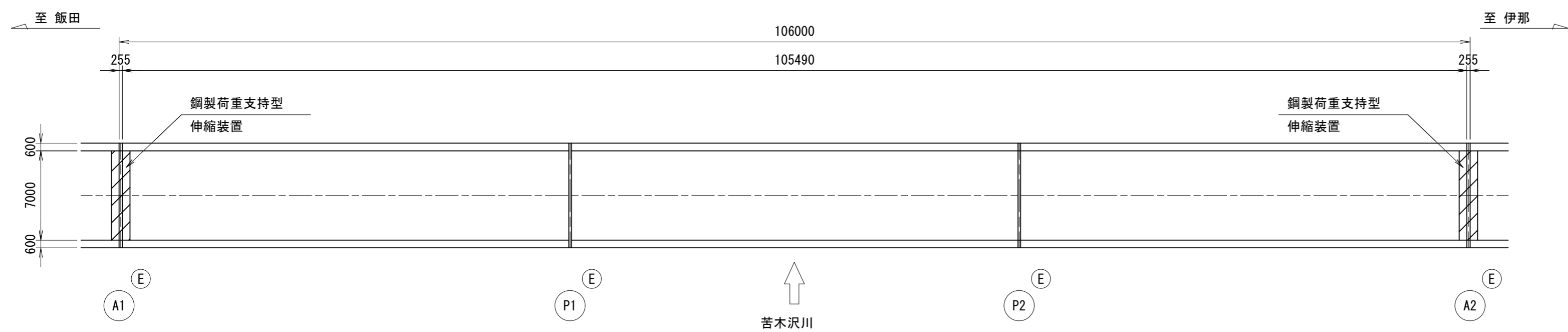
※1 各寸法は現地検測を行った上で施工すること。現地と図面に相違が見られた場合は、設計変更により現地寸法を優先して施工すること。
※2 表面保護材の規格については現地状況を確認し選定するものとする。

令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事				
番号	4/6	支承補修図	縮尺	図示
現場関係者 苦木沢橋				
中川村				
村長	課長	照査	設計	
中川村役場				
設計会社	概ゼンシン	管理技術者	原田 東輔	
		照査技術者	原田 隆	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		

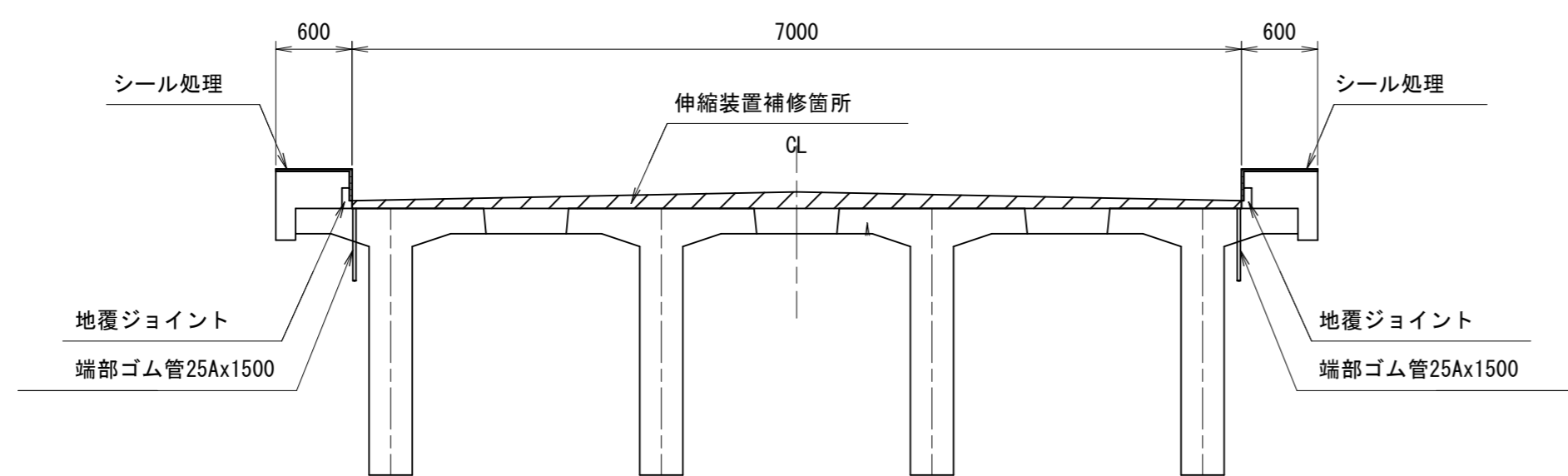
苦木沢橋 伸縮装置詳細図

(参考図)

平面図 S=1:300

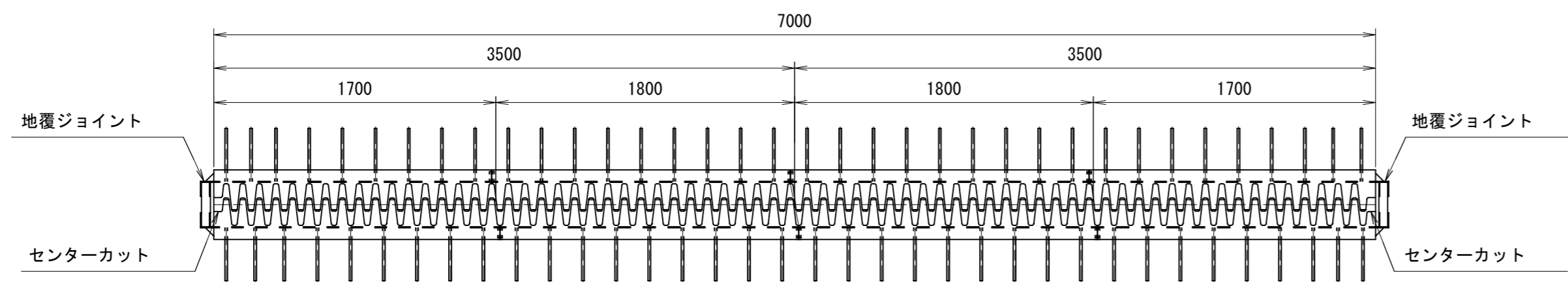


断面図 S=1:50

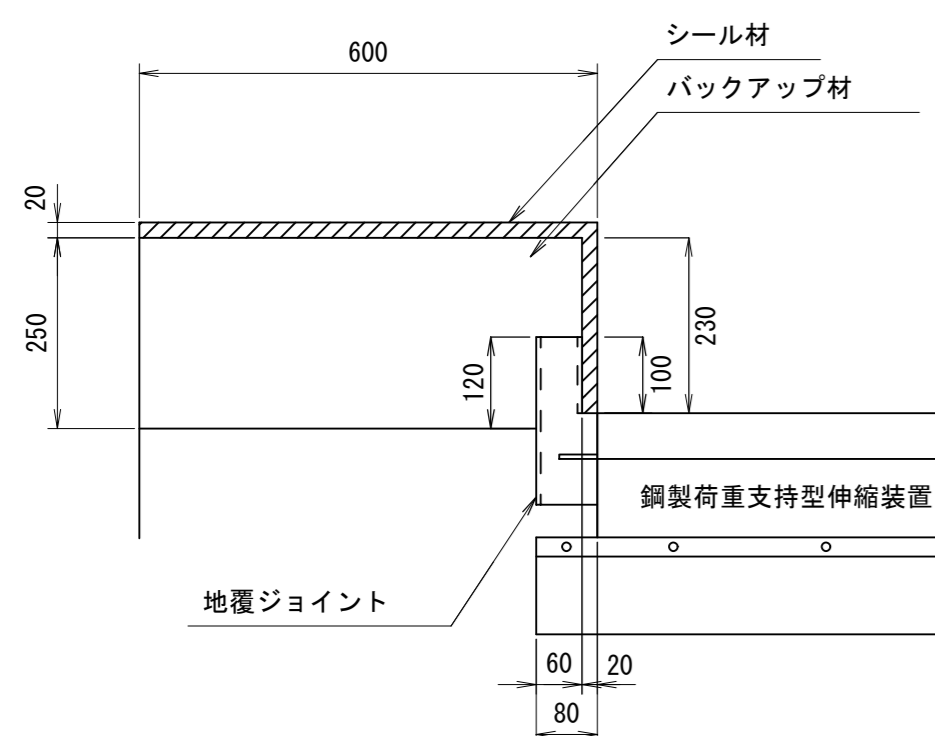


製品割付図 S=1:30

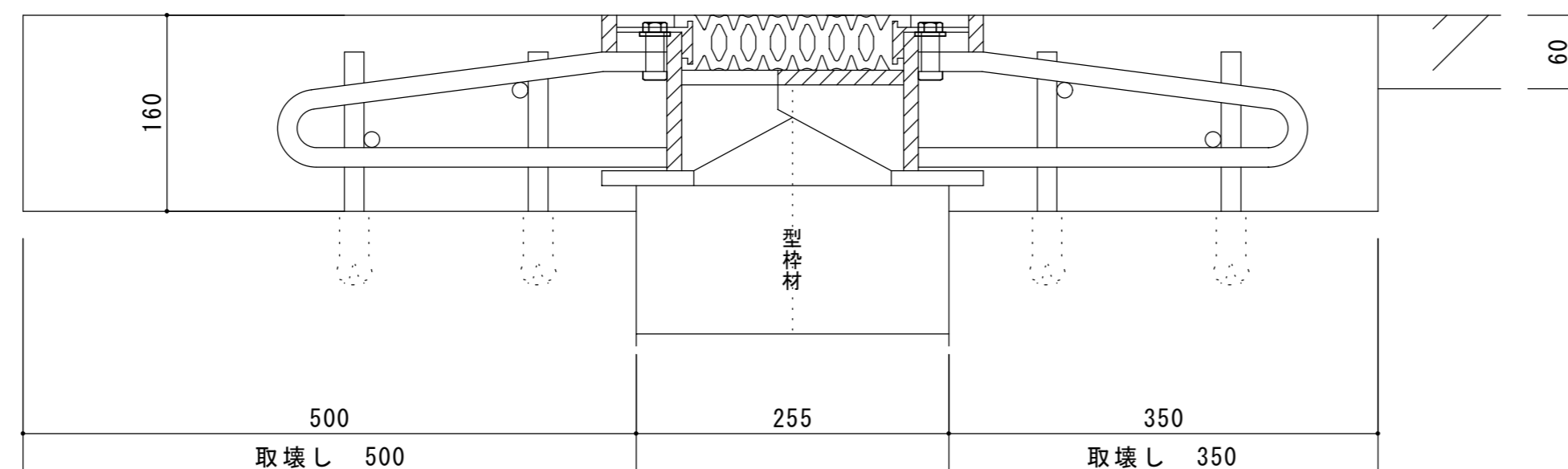
(A1, A2) 鋼製荷重支持型伸縮装置



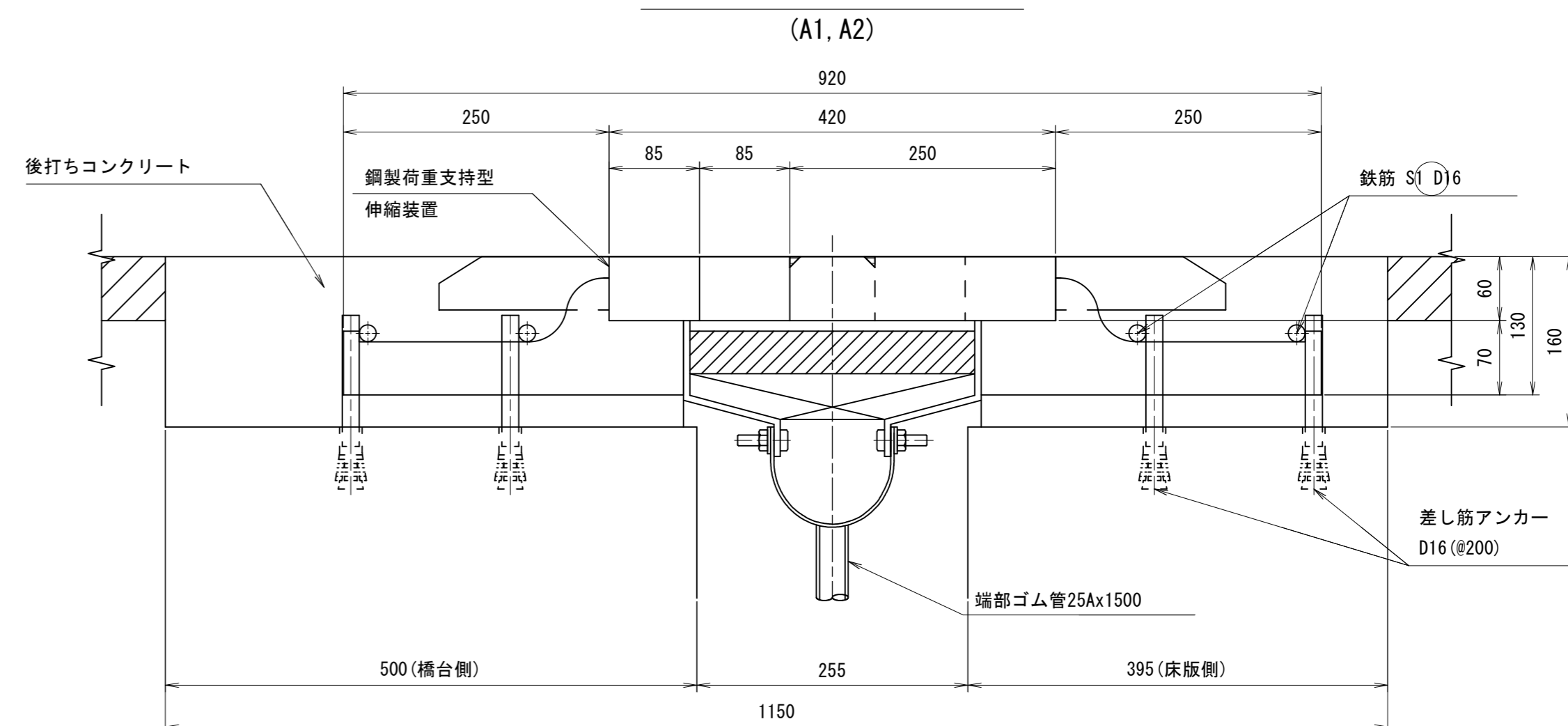
地覆部詳細図 S=1:10



既設取壊し断面図 S=1:5

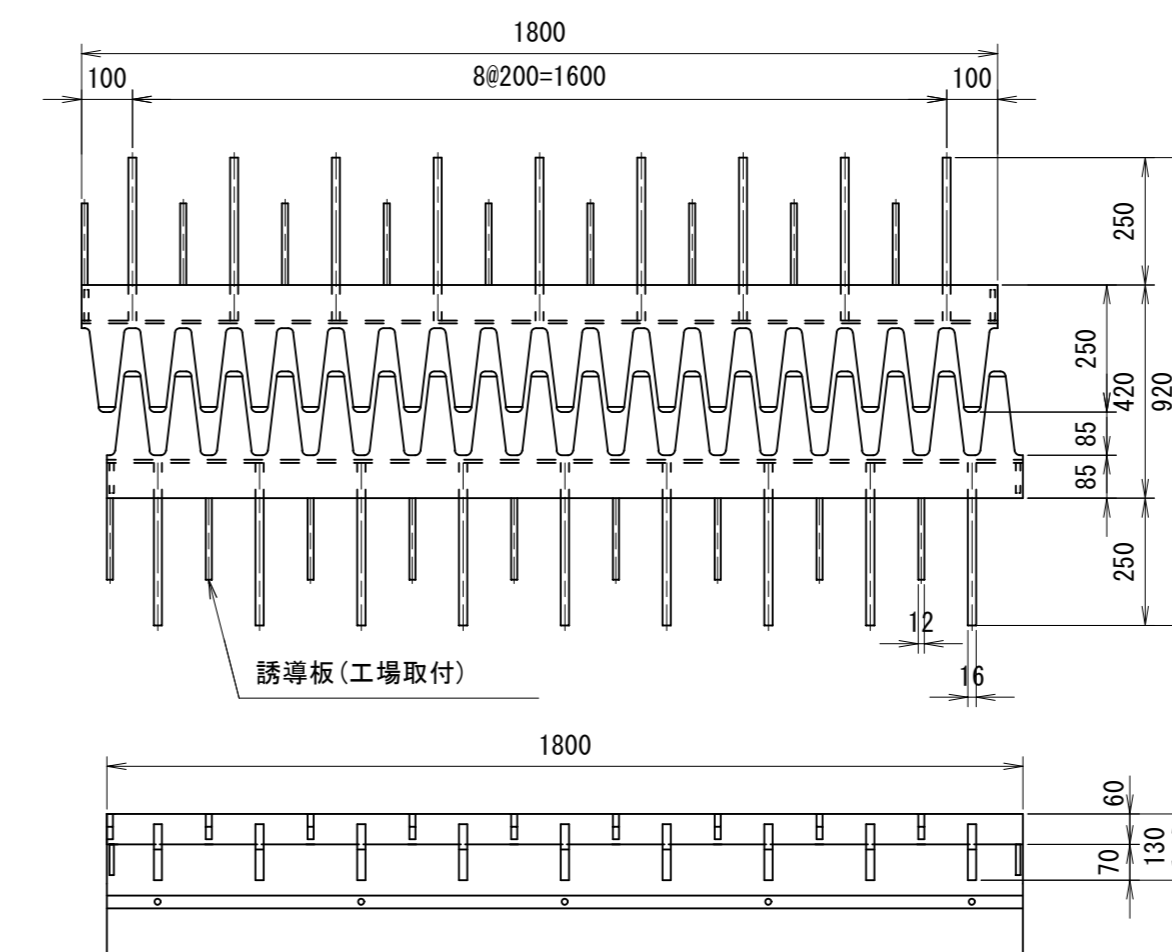


取付断面図 S=1:5

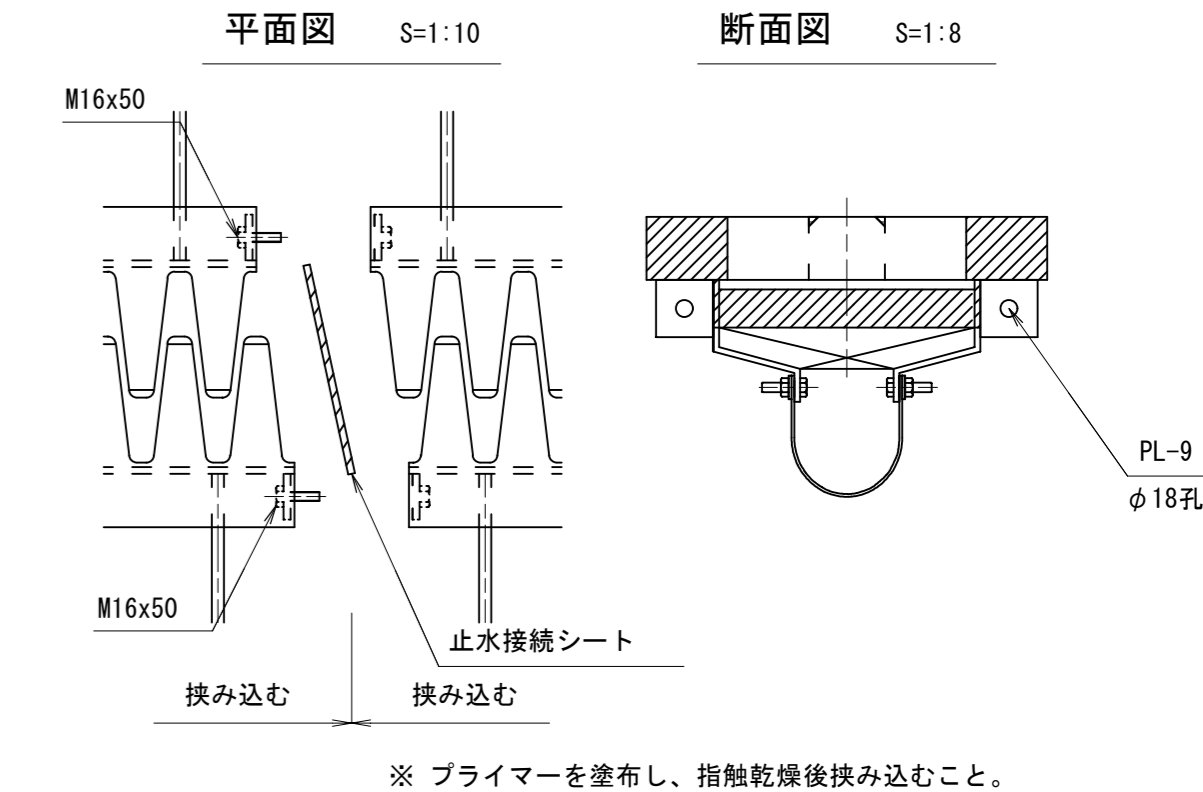


製品図 S=1:15

(A1, A2) 鋼製荷重支持型伸縮装置



接続部止水接続シート詳細図



数量表

品名	仕様・規格	単位	A1	A2	合計	備考
鋼製荷重支持型伸縮装置	設計伸縮量90mm 遊間25mm	m	7,000	7,000	14,000	
地覆ジョイント		箇所	2	2	4	
鉄筋 S1	D16 SD345	kg	43.68	43.68	87.36	
差し筋アンカー	D16 異形鉄筋付	本	144	144	288	
後打ちコンクリート	$\sigma_{1d} = 24.0N/mm^2$	m ³	1.002	1.002	2.004	
シール材	シリコン系	L	9.60	9.60	19.20	ロス20%計上
シールプライマー	300g缶	缶	-	-	1	最小ロット
バックアップ材	軟質ウレタンフォーム	L	70.00	70.00	140.00	
端部ゴム管	25Ax1500	本	2	2	4	

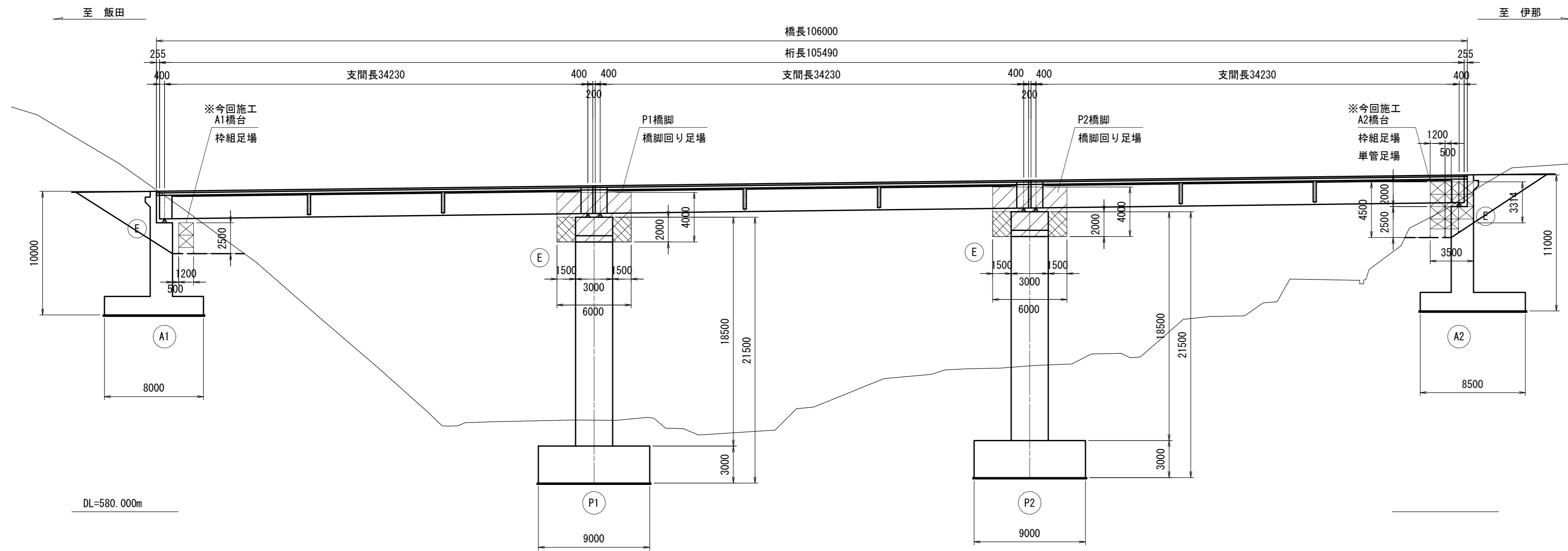
- ※ 施工にあたっては現地を必ず計測・確認し、図面と相違がある場合は現地を優先して製作・施工に反映させること。
- ※ 図面寸法は、標準温度時の値とする。
- ※ 伸縮装置の延長等については施工前に確認すること。
- ※ 止水材の耐久性向上のため、金属を主材料としたフェイスプレートに有する荷重支持型とする。
- ※ アンカーボルトに腐食が生じるためフェイスプレートをボルト・ナットで固定する脱着型は用いない。
- ※ 止水性向上のため、伸縮装置端部は止水材を立ち上げる構造とする。
- ※ 伸縮装置下面に、二重防水層を取り付けた製品とする。

令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事			
番号	5 / 6	伸縮装置詳細図 (参考図)	縮尺 図示
現場所在地 苦木沢橋			
中川村			
村長	課長	照査	設計
中川村役場			
設計会社	株式会社 藤ゼンシン	管理技術者	原田 東輔
		照査技術者	藤田 隆
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

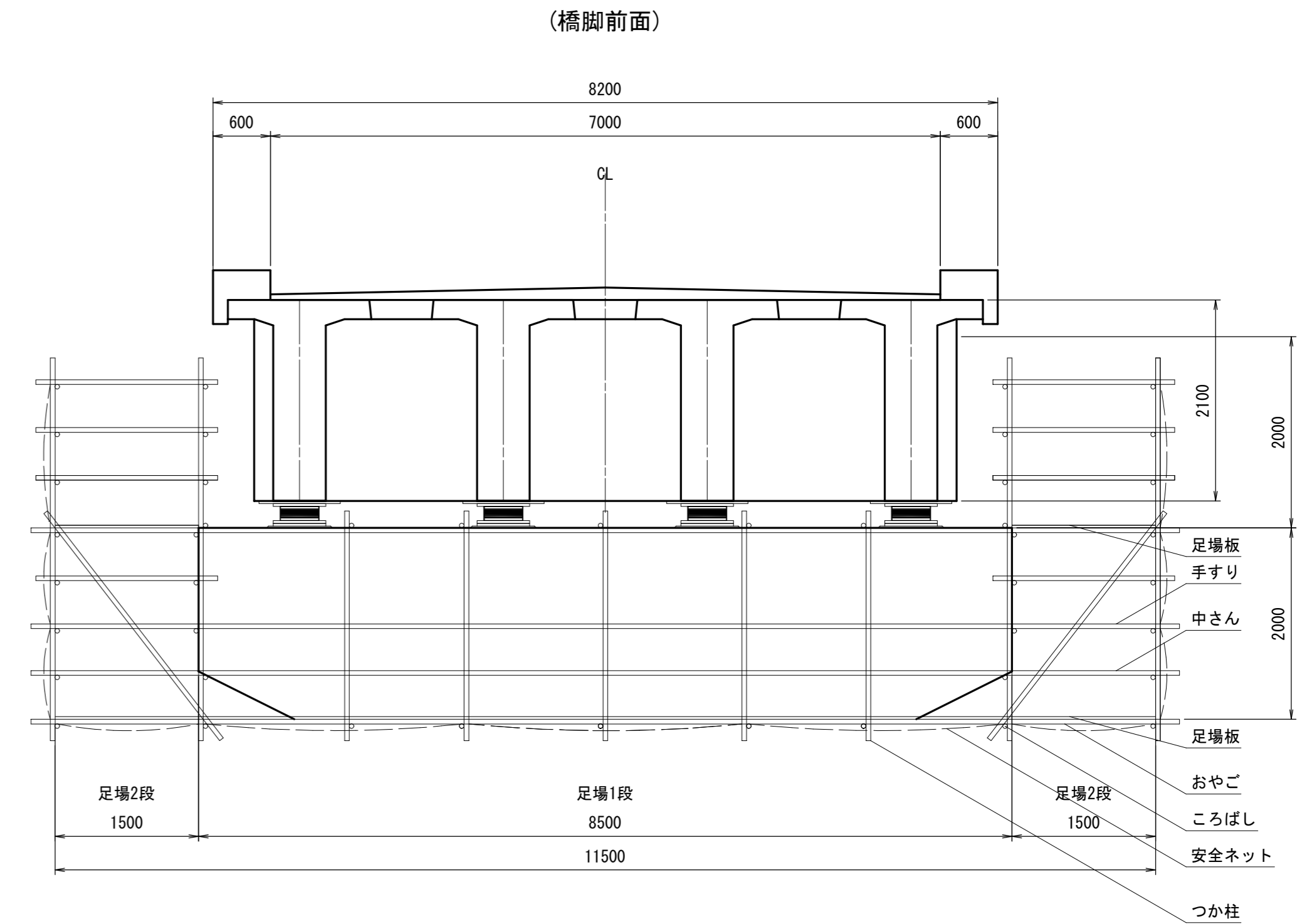
苦木沢橋 施工要領図

(参考図)

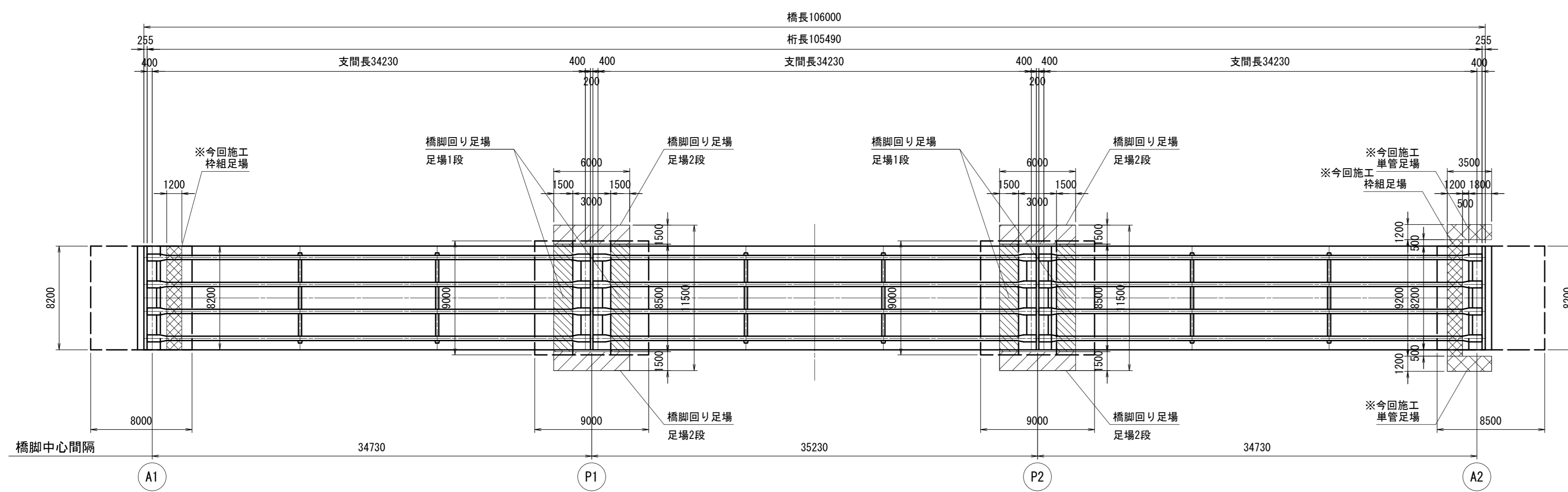
側面図 S=1:250



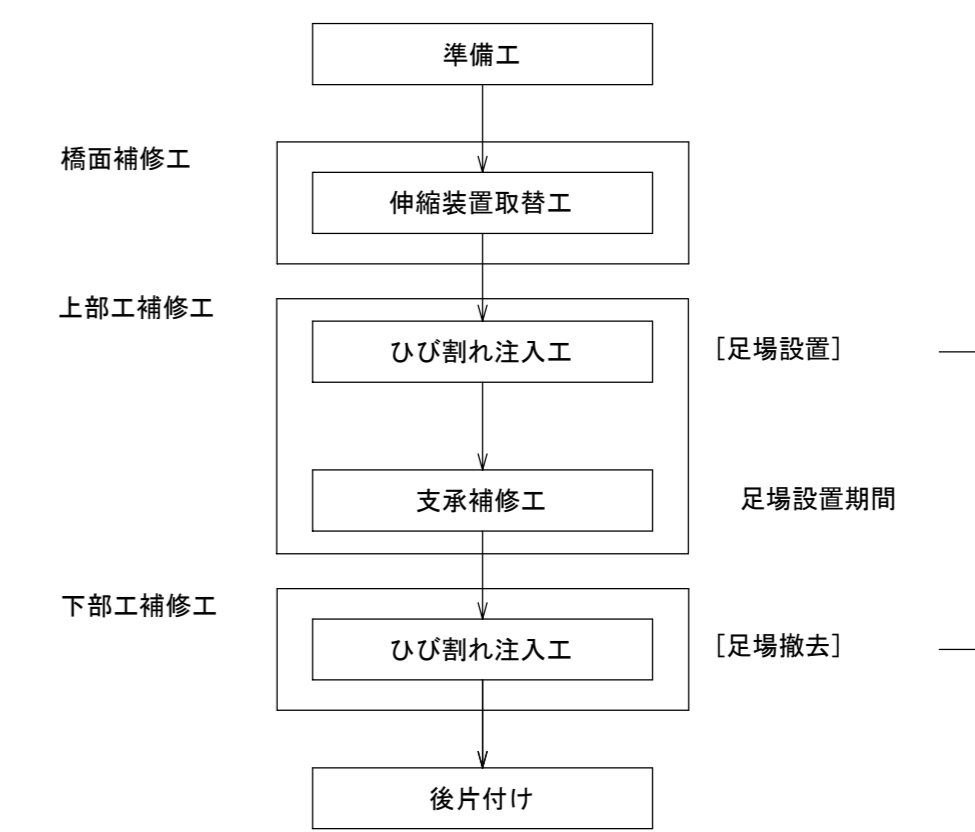
断面図 S=1:50



平面図 S=1:250



施工手順フロー



※1 各寸法は現地検測を行った上で施工すること。現地と図面に相違が見られた場合は、設計変更により現地寸法を優先して施工すること。

補修用足場工 数量表

足場の種類		位置	面積A	計算式	備考
枠組足場	タイプ G	A1, A2橋台 前面	44 ㎡	$A = 8.2 \times 2.5 + 9.2 \times 2.5 = 43.5$	
単管足場		A2橋台 側面	27 ㎡	$A = 3.5 \times (4.5 + 3.31) / 2 \times 2 = 27.3$	

足場数量の算出は「橋梁架設工事の積算 令和2年度版 (社)日本建設機械施工協会」に基づいて算出

令和2年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事			
番号	6 / 6	施工要領図 (参考図)	縮尺 図示
現場照付録 苦木沢橋			
中川村			
村長	課長	照査	設計
中川村役場			
設計会社	概ゼンシン	管理技術者	原田 東輔
		照査技術者	原田 隆
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	